茨城県土木部工事成績評定要領

平成25年4月

土木部検査指導課

目 次

	ページ
茨城県土木部工事成績評定要領	 1 ~
工事成績採点表「別記様式第1」	 4 ~
細目別評定点採点表「別記様式第1の2」	 5 ~
工事成績評定表「別記様式第2」	 6 ~
工事成績評定通知書「別記様式第3」	 7 ~
工事成績評定に係る説明書(回答)「別記様式第4」	 10 ~
工事成績評定に係る再説明書(回答)「別記様式第5」	 11 ~
考查項目別運用表(土木工事)「別紙-1~3」	 12 ~
考查項目別運用表(建築工事)「別紙-1~3」	 52 ~
考查項目別運用表(小規模工事)「別紙-1~3」	 81 ~
記入方法及び留意事項「別紙-4」	 95 ~
施エプロセスチェックリスト(土木・建築)「別紙-5」	 96 ~
工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況「別紙ー6」	 104 ~

茨城県土木部工事成績評定要領

(目的)

第1条 この要領は、土木部が所管する建設工事(以下「工事」という。)の成績評定(以下「評定」という。)を実施するに当たり、茨城県建設工事施工等の手続及び監督規程(平成8年茨城県訓令第23号。以下「監督規程」という。)第60条の2に基づき同規程に定めるものの他、必要な事項を定め、厳正かつ的確な成績評定の実施を図り、もって受注者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(対象工事)

第2条 評定は、1件の契約金額が250万円を超える請負工事について行う。ただし、 除草工事は、評定の対象から除くものとする。

(評定者等)

- 第3条 評定を行う者(以下「評定者」という。)は、検査員、総括監督員及び主任監督員 とする。
- 2 前項に掲げる評定者は、別表一1に定める者とする。

(評定の時期)

第4条 評定の時期は、検査員にあっては、完成検査時、部分引渡検査時及び中間検査時とし、総括監督員及び主任監督員にあっては、工事完成時及び部分引渡時とする。 (評定の方法)

- 第5条 評定は、工事ごとに独立して行うものとする。
- 2 工事成績の採点は、別記様式第1「工事成績採点表」及び別紙-1~別紙-3「考査項目別運用表(土木又は建築)」により行うものとし、細目別評定点の算出は別記様式第1の2によるものとする。
- 3 評定結果は、別記様式第2「工事成績評定表」に記録するものとする。
- 4 評定に当たっては、別紙-4「記入方法及び留意事項」及び別紙-5「施工プロセスチエックリスト」を考慮するものとする。
- 5 工事における 「工事特性」,「創意工夫」及び「社会性等」に関して,請負者は当該工事における実施状況を別紙-6「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況」により提出できるものとし,提出があった場合はこれも考慮するものとする。
- 6 別表―2に掲げる小規模工事の工事成績の採点は、別記様式第1「工事成績採点表」 及び「考査項目別運用表(小規模工事)」により行うものとし、細目別評定点の算出は別 記様式第1の2によるものとする。

(評定結果の報告)

- 第6条 評定結果の報告は、工事の完成のときに行うものとし、検査員は、全ての評定者 が評定を終了したときは、遅滞なく検査指導課長、建築主管課長又は所長に復命するもの とする。
- 2 検査指導課長又は土木主管課長は,監督規程第57条第1項から第3項までの送付を行 うときは,当該工事に係る別記様式第1の写しを添付することにより,土木主管課長,建 築主管課長又は所長に評定結果を送付するものとする。

(評定結果の通知)

第7条 知事又は所長は、評定結果の復命又は送付があったときは、遅滞なく、当該工事の受注者に対し、評定の結果を別記様式第3「工事成績評定通知書」(以下「通知書」という。)及び別表1により通知するものとする。この場合の通知は、監督規程第57条第4項から第6項の通知と同時に行うものとする。

(評定の修正)

第8条 知事又は所長は、評定結果を通知した後、評定を修正する必要があると認める場合 は評定を修正し、その結果及び理由を当該工事の受注者に通知できるものとする。 (説明請求等)

- 第9条 第7条又は第8条による通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日 (「休日」を含む。)以内に書面により、通知を行った者に対して評定の内容について説明を求めることができる。
- 2 知事又は所長は、前項による説明を求められたときは、速やかに、工事成績評定委員会の審議を経て別記様式第4「工事成績評定に係る説明書(回答)」により回答するものとする。
- 3 前項の回答を受けた者は、前項の回答を受けた日から起算して14日以内に(「休日」を含む。)書面により、知事に対して、再説明を求めることができる。
- 4 知事は、前項による再説明を求められたときは、茨城県入札監視委員会(以下「委員会」という。)の審議を経て、別記様式第5「工事成績評定に係る再説明書(回答)」により回答するものとする。なお、委員会への付議に関する細目については別に定めるものとする。(評定結果の公表)
- 第10条 評定が確定した時は、別表2(別記様式第3)の写しを閲覧により公表するものとする。
- 2 公表は、当該工事の存する発注事務所(課)で行ない、公表期間は、完成検査を行った日の属する年度及び翌年度とする。

付 則

- 1 この要領は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の日(以下「施行日」という。)以後に工事起工決議した工事及び知事が別に指定する工事について適用し、施行日前に工事起工決議をした工事(知事が別に指定する工事を除く。)については、なお従前の例による。

付 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

付 則

この要領は、平成23年4月18日から施行する。

付 則

この要領は、平成24年4月1日から施行する。

付 則

- 1 この要領は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 施行日以後に工事起工決議した工事及び知事が別に指定する工事について適用し,施行 日前に工事起工決議をした工事(知事が別に指定する工事を除く。)については,なお従 前の例による。

別表一1

評定者の名称及び任命基準

評定者名称	検査員	総括監督員	主任監督員
任命基準	茨部検査 県土工領定 4 条査員	 土木事務所及び工事事務所にあっては、原則として1億円以上の工事は所長,5000万円以上1億円未満の工事は技術次長,5000万円未満の工事は担当課長とする。 (大子工務所は,原則として5000万円以上の工事は所長,5000万円未満の工事は担当課長とする) その他の事務所にあっては,原則として所長とする。 建築主管課にあっては,原則として3000万円以上の工事は課長,3000万円未満の工事は技術総括補佐とする。 	 ・土木事務所、工事事務所及び工務所は、原則として当該工事を所管する発注担当課の職員とし、所長が任命した者とする。 ・その他の事務所にあっては、原則として当該工事担当課長とし、所長が任命した者とする。 ・建築主管課にあっては、当該工事担当補佐とし、課長が任命した者とする。

別表一2

小規模工事の種別

- 1.1件の契約金額が250万円を超え500万円未満の請負工事
- 2. 区画線設置工事
- 3. 請道修
- 4. その他発注者が認めた工事(検査指導課長と協議済みのもの)

工事番号														+π 44. Λ	AT.																																
工 事 名														契約金	観										円																						
受注者名												I.	月									~	,												完成	年月	日										
			Ì	任	監督	員					総括	監督	員					検	查	員(中	間)			検 査 員 (中間)				検 査 員 (中間)				検 査 員 (完成)															
考益	荃項目	氏名						氏名								氏名								氏名	3							氏名	3							氏名							
項 目	細別	а	b	С	d	е	評価	j a	a'	b	b'	С	d	е	評価	а	a'	b	b'	С	d	е	評値	≣ a	a'	b	b'	' c	0 (d (評値	≣ a	a'	b	b'	С	d	е	評価	i a	a'	b	b'	С	d	е	評価
. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																																									
. 旭工14利	Ⅱ.配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																																									
	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10										+5.0		+2.5		0	-7.	5 -15	5.	+5.0)	+2.	5	0	0 -7	7.5 -1	5.	+5.)	+2.	5	0	-7.	5 -15.		+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.	
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10		+2.0		+1	.0	0	-7.5	-15.																																	
2. 旭工认为	Ⅲ. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10		+3.0		+1	.5	0	-7.5	-15.																																	
	Ⅳ. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.	5 -5.0																																									
3. 出来形	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.	5 -5.0										+10.	+7.5	+5.0	+2.	5 0	-10)20) .	+10	. +7.	5 +5.0	0 +2.	5 0	0 -1	102	0.	+10	. +7.5	+5.	0 +2.5	0	-10	D20.		+10.	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.	-20.	
及び	Ⅱ.品 質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0										+15.	+12.	+7.5	+4.	0 0	-12	.5 -25	5.	+15	. +12	2. +7.5	5 +4.	0 0	0 -1	12.5 -2	5.	+15	+12	. +7.	5 +4.0	0	-12	.5 -25.		+15.	+12.	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.	
出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ															+5.0		+2.5		0	-5.0	0		+5.0)	+2.	5	0	0 -5	5.0		+5.)	+2.	5	0	-5.0	0		+5.0		+2.5		0	-5.0		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対	応(※	2)						+	0~	20																																				
5. 創意工夫	I. 創意工夫 (※3)		+	0~7																																											
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	(※4)						+10.	+7.	5 +5	.0 +2.	5 0																																			
加減点合計	(1+2+3+4+5+6)					点								点								点								Я	ā							点								点	
評定,	点(※1)	1				点		2						点		3						点		3						Я	ā	3						点		4						点	
					点	_		〇中	間検:	査が <u>a</u>	<u>あった</u> ;	昜合																																			
7. 評定点計 (WE)							1				点 >	0.4	1 +	2				点 >	c 0.	2 +	3				点×	c 0.	2 +	4)			点×	0.	2 =			点									
7. 計正思訂(% 5)							0 4	間杉	査が	なかっ	<u>た</u> 場に	:																																		
								1					0.4						点 >	(0.	2 +	4				点×	(0.	4 =			点																
8. 法令遵守等	(※6)										点		法令	令遵守等の該当事由																																	
9. 評定点合計	(※7)				点	_		С	7. 🖥	平定点	計 (点) — 8. 法令遵守等(点)= 点																																	
10. 総合評価技術	斯提案履行確認(※8)									履行	7	履行	対	象外	У																																
所」	見(※9)	(主作	壬監督	(員)				•				(1	総括監*	賢員)		•									(検査	員)																					

- ※1 65点+加減点合計 (1+2+3+4+5+6) とする。
 - 各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。 評価に際しては、主任監督員からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
- ※4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。
- ※5 中間検査があった場合: (① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 ※ただし、③ (中間)が2回以上の場合は平均値
- ※6 法令遵守等は減点評価のみとし、評価は総括監督員が完成検査時に行う。
- ※7 評定点合計は、小数第2位切捨てにより小数第1位までとする。
- ※8 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。
- ※9 所見欄には評定結果の概要を記載する。
- %10 各考査項目ごとの採点は、別紙 $-1\sim3$ 考査項目別運用表によるものとする。

細目別評定点採点表

. 施工体制 I		I I	②総括監督員	③検査員(中間)	③検査員 (中間)	③検査員(中間)	④検査員(完成)	細目別評定点 ()内は配点	得点割台
	[. 施工体制一般	() × 0.4 + 2.9							
		= 点						(3.3点)	
п	I. 配置技術者	() × 0.4 + 2.9							
		= 点						(4.1点)	
. 施工状況 I	1. 施工管理	() × 0.4 + 2.9		() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5		
		= 点		= 点	= 点	= 点	= 点	(13点)	
п	I. 工程管理	() × 0.4 + 2.9	() × 0.2 + 3.2						
		= 点	= 点					(8.1点)	
ш	I. 安全対策	() × 0.4 + 2.9	() × 0.2 + 3.3						
		= 点	= 点					(8.8点)	
IV	7. 対外関係	() × 0.4 + 2.9							
		= 点						(3.7点)	
・ 山木ル及び	[. 出来形	() × 0.4 + 2.8		() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5		
出来ばえ		= 点		= 点	= 点	= 点	= 点	(14.9点)	
п	I. 品質	() × 0.4 + 2.9		() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5		
		= 点		= 点	= 点	= 点	= 点	(17.4点)	
ш	Ⅱ. 出来ばえ			() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5	() × 0.4 + 6.5		
				= 点	= 点	= 点	= 点	(8.5点)	
. 工事特性 I	[. 施工条件等への対応		() × 0.2 + 3.3						
			= 点					(7.3点)	
. 創意工夫 I	1. 創意工夫	() × 0.4 + 2.9							
		= 点						(5.7点)	
. 社会性等 I	[. 地域への貢献等		() × 0.2 + 3.2						
			= 点					(5.2点)	
. 法令遵守等			() ×1.0						
			= 点						

[※] 中間検査があった場合 (①+②+③×0.5+④×0.5) =細目別評定点 (中間が2回以上の場合は③を平均する。)

[※] 中間検査がなかった場合 (①+②+④) =細目別評定点

[※] 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

別記様式第2

工事成績評定表

I.	事 番	号	· I	事	名			
契	約		金		額	当初:	最終:	
エ					期	当初: ~	最終:	
完	成	年	F	1	П			
完	成検	査	年	月	П			
中	間検	查	年	月	日	第1回:	第2回: 第3回:	
受	ì	主	者	,	氏	名		
瑪	場	代	理	人	氏	名		
主	. 任 •	監	理 技	術	者」	氏 名		
総	: 括 鹽	点 督	員	職	• [毛 名	印	
主	任 臣	点 督	員	職	• [毛 名	印	
検	查	員	職	•	氏	: 名	印	
検	查	員	職	•	氏	: 名	印	
A.F.	第1回中	□間検	查、検査	至員	職・	氏名		
Š	第2回中	□間検	查、検査		職・	氏名		
A.F.	第3回中	□間検	查、検査	至員	職・	氏名		
(]	主任	監督員	員評定,	点				点
2) 総括	監督員	真評定,	点				点
(3)中間	検査員	員評定,	点				点
4)完成	検査員	員評定,	点				点
(5) 法令	遵守等	等					点
6	評定	点合言	†					点

注1) 中間検査があった場合 評定点合計 ⑥= (①×0.4+②×0.2+③×0.2+④×0.2) -⑤ 中間検査がなかった場合

- 甲間検査がなかった場合 評定点合計 ⑥= (①×0.4+②×0.2+④×0.4) -⑤ 2) 中間検査が2回以上あった場合、評定点は中間検査を合わせた平均点を記入する。 3) 一部完成の場合は、総括監督員、主任監督員及び検査員が各々評定を行い、完成の際に、完成検査時の評定点と金額により加重平均を行い記入する。 4) 主任監督員、総括監督員、検査員の評定点は小数第1位まで記入する。 5) ⑤法令遵守等は、総括監督員が記入する。 6) ⑥評定点合計は、小数第1位まで記入する。

別記様式第3

 記号
 第
 号

 平成
 年
 月

 日

(契約の相手方) 商号又は名称 代表者氏名

殿

知事又は事(工)務所長 印

工事成績評定通知書(暫定)

貴社が受注し下記のとおり完成検査を行った工事について、茨城県土木部工 事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

また、下記工事は、法令遵守等に抵触又は抵触している恐れがあり、これに 対する措置が工事検査日までに決定していないため、暫定評定とします。

なお、この評定の結果に疑問があるときは、この通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に当職に対してその疑問の旨を付した書面により、説明を求めることができます。

なお,説明を求める場合の書面の送付先及び手続等についての問い合わせ先 は下記のとおりです。

記

- 1. 工 事 名
- 2. 工 期 平成 年 月 日~平成 年 月 日
- 3. 完成検査年月日 平成 年 月 日
- 4. 評 定 点 点

(4 修正評定点 点 「評定点が修正された場合のみ))

		1	
十田		П	
1	┕	ч	

5. 送付先及び手続き等の問い合わせ先 (茨城県土木部検査指導課又は土木事務所)

※暫定通知の場合のみ、波線部を加える。(別表1についても同様とする。)

別表1 (通知用)

項目別評定点(暫定)

工事番号: 工 事 名:

評価項目 評定点/満点 細別 1. 施工体制 I. 施工体制一般 / 3.3 点 Ⅱ. 配置技術者 / 4.1 点 2. 施工状況 I. 施工管理 / 13.0 点 Ⅱ. 工程管理 / 8.1 点 Ⅲ. 安全対策 / 8.8 点 / 3.7点 Ⅳ. 対外関係 3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形 / 14.9 点 Ⅱ. 品質 / 17.4 点 皿. 出来ばえ / 8.5 点 I. 施工条件等への対応 / 7.3 点 4. 工事特性(加点のみ) I. 創意工夫 / 5.7点 5. 創意工夫(加点のみ) / 5.2 点 I. 地域への貢献等 6. 社会性等(加点のみ) 7. 法令遵守など(減点のみ) 評定点合計 / 100点

別表2 (閲覧用)

工事成績評定結果表

工事名	
工事箇所	
工事完成年月日	
受注者	
評定点	

別記様式第4

 記号
 第
 号

 平成
 年
 月

 日

(契約の相手方) 商号又は名称 代表者氏名

殿

知事又は事(工)務所長 印

工事成績評定に係る説明書(回答)

貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。本説明書に疑問があるときは、この書面の回答を受けた日から起算して14日 (「休日」を含む。)以内に書面により、知事に対して再説明を求めることができます。

なお、再説明は茨城県入札監視委員会の審議を経た上で行います。

また,再説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 工事名
- 2 疑問に対する回答
- 3 送付先及び手続等の問い合わせ先 (…事務所発注の場合は事務所連絡先) 〒310-8555 水戸市笠原町978番6 茨城県土木部検査指導課 TEL 029-301-4379

別記様式第5

記号第号平成年月日

(契約の相手方)

商号又は名称

代表者氏名

殿

知 事 印

工事成績評定に係る再説明書(回答)

貴社から再説明を求められた評定内容について、下記のとおり回答します。

記

- 1 工 事 名
- 2 疑問に対する回答

目 次

		ページ
別紙—1	①~⑧考查項目別運用表(主任監督員)	 13 ~
別紙一2	①~④考查項目別運用表(総括監督員)	 21 ~
別紙—3	1~27考查項目別運用表(檢查員)	 25 ~

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。評価の対象としない項目には「×」印を記入する。 (主任監督員) 考査項目 I.施工体制一般 他の評価に該当しない . 施工体制 適切である ほぼ適切である やや不適切である 不適切である 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない。 施工体制一般に関して、監督職員が 施工体制一般に関して、監督職員 施工計画書を、工事着手前に提出している。 文書による改善指示を行った。 からの文書による指示に従わなかっ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 元請が下請の作業成果を検査している。 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 その他 〔理由: ●判断基準 該当項目が90%程度以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ b 該当項目が80%程度未満・・・・・・ c 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数()④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c)評価とする。 Ⅱ.配置技術者 (現場代理人等) 他の評価に該当しない 適切である ほぼ適切である やや不適切である 不適切である ●「評価対象項目」 配置技術者に関して、監督職員か 【全体を評価する項目】 配置技術者に関して、監督職員が 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項がない。 らの文書による改善指示に従わなか 改善指示を行った。 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 【現場代理人を評価する項目】 現場代理人が、工事全体を把握している。 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 監督職員への報告を的確に行っている。 【監理(主任)技術者を評価する項目】 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 契約書、設計図書、適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 その他 ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ b 該当項目が80%未満・・・・ c 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

別紙-1②

考查項目別運用表(土木)

- In 1, 100 -						(主任監督員)
考査項目 2.施工状況	組 別 I.施工管理	<u>a</u> 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
		●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち施工計画書が、設計図書及び現場多現場条件の変化に対して、適切に対工事材料の品質に影響がないよう保日常の出来形管理を、設計図書及び規場内の整理整頓を日常的に行って指定材料の品質証明書及び写真等で、工事打合せ簿を、不足無<整理して、建設副産物の再利用等への取り組み	、施工管理について指示事項がない。 条件を反映したものとなっている。 応している。 管している。 管している。 管上計画書に基づき適時及び的確に行って でいる。 である。 でる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	ている。 いる。	施工管理に関して、監督職員が文書 による改善指示を行った。	施工管理に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
			象としない項目は削除する。 評価項目数を母数として計算した)/評価対象評価項目数() が2項目以下の場合は「c」評価とする。			
	Ⅱ.工程管理	a	b	C C	d	e
		工程に与える要因を的確に把握し、 実施工程表の作成及びフォローアップ 現場条件の変化への対応が迅速であ	制約への対応が適切であり、大きな工程のi を行っている。 が無い。		やや不適切である 工程管理に関して、監督職員が文書 による改善指示を行った。	不適切である 工程管理に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・ 該当項目が80%未満・・・ c ① 当該「評価対象項目」のうち、対 ② 削除項目のある場合は、削除後の 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) — 該当項目数(象としない項目は削除する。 評価項目数を母数として計算した			

別紙-1③

考查項目別運用表(土木)

考查項目	細別	1	L.	2		(主任監督員)
与重視日	# 別 Ⅲ.安全対策	<u>a</u> 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
	M.A.LAR	●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち 災害防止協議会を1回/月以上実施! 安全教育及び安全訓練等を半日/月 新規入場者教育の内容に、当該工事 工事期間を通じて、労働災害及び公 過積載防止に取り組んでいる。 仮設工の点検及び管理を、チェックリ	、安全対策について指示事項が無い。 こている。 以上実施している。 すの現場特性を反映している。 衆災害が発生しなかった。 「スト等を用いて実施している。 「準及び関係者間の協議に基づき行ってい		安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	・
		その他 (理由: ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・ b 該当項目が80%未満・・ c (① 当該「評価対象項目」のうち、対 (② 削除項目のある場合は、削除後の 比率(%)計算の値で評価する。 (③ 評価値(%) = 該当項目数((④ なお、削除後の評価対象項目数	評価項目数を母数として計算した)		
	IV.対外関係	a	h	C	d	P
	- Court Mann	適切である ●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち 関係官公庁などと調整を行い、トラブ 地元との調整を行い、トラブルの発生 第三者からの苦情が無い。もしくは、 関連工事との調整を行い、円滑な進 工事の目的及び内容を、工事看板な	が無い。 苦情に対して適切な対応を行っている。	他の評価に該当しない	やや不適切である 対外関係に関して、監督職員が文書 による改善指示を行った。	不適切である 対外関係に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
		その他 ②判断基準 該当項目90%以上・・・・・ 該当項目80%以上90%未満・・・・ 該当項目80%未満・・・・ ① 当該「評価対象項目」のうち、対 ② 削除項目のある場合は、削除後の比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数(④ なお、削除後の評価対象項目数	評価項目数を母数として計算した)		

考査項目		a	b	c	d	(主任監督員) e
3.出来形及び 出来ばえ I.出来形	て所定の測定値に	の測定が、必要な測定項目につい の測定基準に基づき行われており、 が規格値を満足し、そのばらつきが の概ね50%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切で あったため、監督職員が文書で改善指示 を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	① 出3 ② 出3 ③ 出3 び規材 当該行 上でに	ばらつき判断は別紙一4参照 来形の評定は、工事全般を通して評 来形とは、設計図書に示された工事 来形管理とは、「土木工事施工管理 各値に基づき所定の出来形を確保・ 等理基準によりがたい場合等につい 出来形管理をを行うものである。 来形管理項目を設定していない工事	目的物の形状及び寸法をいう。 基準」の測定項目、測定基準及 トる管理体系であるが、 ては、監督職員と協議の			
	機械設備工事	a	ь	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
	よらず、当該欄で評価	設備全般にわたり、形状及び寸施工管理基準の撮影記録が撮け設計図書で定められていない也不可視部分の出来形を写真撮影塗装管理基準の塗膜厚管理を対対内の管理基準に基づき管理と設計図書に定められている予備分解整備における既設部品等の地での他で理由: 判断基項目が80%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	来形管理項目について、監督職員と協議の上 としている。 適切にまとめている。 適切にまとめている。 でいる。 品に不足が無い。 誰耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状 ・・・・ b 、対象としない項目は削除する。 後後の評価項目数を母数として計算した	で管理している。	出来形の測定方法又は測定値が不適切で あったため、監督職員が文書で改善指示 を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。

4-4-7-0		1				(主任監督員)
考査項目	工種	a	b	С	d	e
3.出来形及び 出来ばえ	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事		に確認できるよう、出来形管理図及び出来形の都度管理図表などに記録され、適切に管理 ほしている。		出来形の測定方法又は測定値が不適切で あったため、監督職員が文書で改善指示 を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求 を行った。
I.出来形	※上記欄によ らず、当該欄 で評価	設計図書で定められていない出 設備全般にわたり、形状及び寸え 機器及び材料の据付及び固定力	来形管理項目について、監督職員と協議の上 よの実測値が許容範囲内である。 汚法が設計図書又は承諾図書通り施工してい 承諾図書どおりに敷設されている。			
	**************************************	行先などを表示した名札がケーコ	ブルなどに分りやすく堅固に取り付けられている 数抵抗等について、設計図書の仕様を満足して			
		■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		J		
		該当項目が90%以上・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・ 該当項目が80%未満・・・・ c		_		
		比率(%)計算の値で評価する ③ 評価値(%)=該当項目	後の評価項目数を母数として計算した 5。 数()/評価対象評価項目数()			
		(4) なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以下の場合は「c 評価とする。	Ш		

*******		=	,		,	(主任監督員		
考査項目 3.出来形及び	口所小別	a ウボ ツ亜大渕ウ布ロにっして	b b b b	c 品質の測定が、必要な測定項目について	d	е		
出来ばえ	所定の測 測定値が	定が、必要な測定項目について 定基準に基づき行われており、 規格値を満足し、そのばらつきが 以内である。	品質の測定が、必要な測定項目について 所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 概ね80%以内である。	m員の側とか、必要な側に曳目について 所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、a、bに該当 しない。	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求 を行った。		
	※ ば	らつきの判断は別紙ー4参照						
	② 品質 3 規 お い 上 で 品 に い る に る い る い る い る い る い る い る い る り る り る り	の評定は、工事全般を通じて設定 とは、設計図書に示された工事目1 管理とは、「土木工事施工管理基3 に基づく全ての段階における品質 1該管理基準によりがたい場合等1 質管理を行うものとする。 管理項目を設定していない工事は	的物の規格である。 準」の試験項目、試験基準及び 確保のための管理体系である。 こついては、監督職員と協議の					
	機械設 備工事	a	ь	Ċ	d	е		
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない				
	※ 横にず、横にず、横にず、横にず、横にが、横にが、横にが、横にが、横にが をがら かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	設備の機能、性能を、承諾四書。 設備の機能、性能を、承諾四書。 設計図書の仕様を踏まえた詳細 機器の品質、機能及び性能が設 溶接管理基準の品質管理項目目。 邊接管理基準の品質管理項目目。 操作制御設備について支達で表達で表す。 操作制御装置の安全装置及びが、小配管、電気配線、配管が、直接である。 一般に対している。 機器の配置が点検しやすいよう。 機器の配置が点検しやすいよう。 機器の配置が点検しやすいよう。 機器の配置が点検しやすいよう。 機器の配置が点検し、部島等の が、ルプ類の平時の配合能を示理を見 が、が、対力の平時の配合を示理を見 設備の劣化状況をよく把握して、現地状況を勘案し施工方法等に 理由: 判断基準 該当項目が80%以上・・・・。 電該当項目が80%以上・・・・。 は当該「評価対象項局」のうち、 該当項目が80%、未満・・・・。 ② 削除項目のある場合は、削除 上率(%)計算の値で評価方。 ② 削除項目のある場合に、削 上率(%)計算の値で評価方。 ③ 評価値(%) 一該影当項目 ③ 評価値(%) 一該影当項目。	設計を行い、承諾図書として提出している。 注計図書を満足して、成績書にまとめられている こついて規格値を満足している。 こついて規格値を満足している。 こついて規格値を満足している。 イッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操 展護装置が承諾図書のとおり配置し、操 限度を表している。 図書のとおり敷設されている。 の。 かな点検及び交換を必要とする部品並びに箇所 工夫している。)交換作業を容易にできるよう工夫している。 は歌鏡はりが実施され、試験成績表にまとめられ べいなどを見やすい状態で表示している。 表示又は防護をしている。 あることが確認できる。 こついて提案を行うなど、積極的に取り組んでいまないで、 はないないなどを見やすい状態で表示している。 あいて提案を行うなど、積極的に取り組んでいまないで、 は次の評価項目数を母数として計算した	。 作性に優れている。 所を明示している。 ている。	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。		

考査項目		a	ь	Ċ	d	e
	電気設備工事 通信設備工事・	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
	受変電設 (エキング) (大学	材料・部品の品質照合の結果が 機器の品質、機能及び性能が高 操作スイッチや表示が承諾図 ケーブル及び配管の接続などの 設備の機能及び性能が設計回割 操作制御関係の機能及び性能 設備の総合性能が、設計図書の 現場条件によって機器(製品)の 設備全体について機器(製品)の 設備全体について関節や取計	が仕様を満足しているとともに、必要な安全装置	。 行われ、不具合が無い。 及び保護装置の作動が確認できる。 工場試験などで確認している。 の場合は、修正又は更新)している。	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求 を行った。
		比率(%)計算の値で評価す ③ 評価値(%)=該当項目	未満・・b c 、対象としない項目は削除する。 、後の評価項目数を母数として計算した			
	維持·修繕工事	a	ь	с	d	е
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
	※欄にず該評価	●【評価対象項目】 常に緊急的な作業に対応できる 緊急的な作業に対し、迅速に対 監督職員の指示事項に対し、現 施工後のメンテナンスに対する計 理由: 理由: 理由: 理由: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体制を整えている。 応している。 応している。 地状況を勘案し、施工方法や構造について提 是言や修繕リサイクル等を勘案した提案等を行 を	案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 っている。	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	契約書第17条に基づさ、監督職員が改造請求を行った。

(主任監督昌)

						(土	仕 監 省 貝)
考査項目	細 別		I	. 夫 事	項		
5 創音工士	I. 創意工夫	【施工】		【その他】			
0. 周志工人	1. 周 志工八		- 88 トステナマンが(世紀/1/2/ のみ)第七 理事がは明 トステナ				
			こ関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。	その他	「理由:	1	
		コンクリート二次製品などの代替	材の利用に関する工夫。		CEH.	J	
			装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。				
		部材並びに機材等の運搬及び	Rり方式などの施工方法に関する工夫。	その他	〔理由:	2	
			文は電気工事における配線や配管等に関する工夫。		【建田:	J	
		給排水工事や衛生設備工事等	こおける配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関	する工夫。			
		照明などの視界の確保に関する	丁丰	その他			
				CANIE	〔理由:		
		仮排水、仮道路、迂回路等の計	画的な施工に関する工天。		· — ·		
		運搬車両、施工機械等に関する	丁夫.				
				7 00 116			
			喬、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	――その他	〔理由:	1	
		盛土の締固度、杭の施工高さ等	の管理に関する工夫。		CEH.	,	
		施工計画書の作成、写真の管理					
		出来形又は品質の計測、集計、	管理図等に関する工夫。	その他	〔理由:	1	
		施工管理ソフト、十量管理シスラ			【理田:	J	
		ICT(情報通信技術)を活用した	情報化施工を取り入れた工事。				
		※本項目は2点の加点とす。	3.	その他	2 m 1		
1				COVIE	〔理由:	J	
1		一特殊な工法や材料を用いた工具					
		優れた技術力又は能力として評	価する技術を用いた工事。			-	
1			mm / wastill C/H · (C-1-70	7.00/16			
		【新技術活用】		その他	「理由:	1	
1		NETIS登録技術のうち事後評価	未実施技術を活用し、活用効果調査表を提出している。		CEM :	,	
		※本項目は2点の加点とす					
		NETIS登録技術のうち事後評値	h ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	合評価点			
		が120点以上である。					
		※本項目は2点の加点と	ెన్				
		NETIS登録技術のうち「右田レ	される技術」を活用し、活用効果調査表を提出している。				
		※本項目は4 点の加点とす	'ఏ.				
		NETIS登録技術のうち事後	評価未実施技術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用	11. 発注			
				,00,000			
		者による活用効果調査結果の総					
		※本項目は4点の加点とする	⁻ る。				
			:記4 項目での加点は最大4 点とする。				
		※評定者は、発注者及び計	『負者の双方による全ての活用効果調査表を確認した上で加』	えを行う。			
			から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活				
				ガレル物ロは、加			
		点措置を行わないものとす	Ž ₀				
		※・・・で 「右田レされる技術	所とは、推奨技術、準推奨技術、設計比較対象技術、活用促	生技術 小宝結係			
			门门员、正大汉州、牛正大汉州、以时元秋八承汉州、旧川凡	正区州、ノ大順後			
		良技術をいう。					
		【品質】					
			BB トイナナ				
		土工、設備、電気の品質向上に	関する上天。				
		コンクリートの材料、打設、養生し	こ関する工夫。				
1							
			二次製品等の使用材料に関する工夫。				
		配筋、溶接作業等に関する工夫					
		【安全衛生】	~				
1		建設業労働災害防止協会が定	める指針に基づく安全衛生教育を実施している。				
		※本項目は2点の加点とする。					
			15日 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	(Am			
		女全を催保するための仮設備等	に関する工夫。(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁	上柵、			
		手摺り、足場等)					
			人 コローファナ				
		安全教育、技術向上講習会、安					
		現場事務所、労務者宿舎等の名	門及び設備等に関する工夫。				
			及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。				
1		一般車両突入時の被害低減方	策又は一般交通の安全確保に関する工夫。				
		厳しい作業環境の改善に関する					
			1上人。				
		環境保全に関する工夫。					
1							
1							
1							
	記述評価		【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載				
1	(レマークを付		어느 마다는 그 작은 한 한번만 하나도 무슨 것으로 한다스스스 전 나도와 됩니다면 변경했다.				
							
1	した評価内容	評点: 点					
	を詳細記述						
	C 計十四日日大正	1					

別紙-2①

	当する項目の口に「レ」	印を記入する。				(総括監督]							
考査項目	細別	a	b	c	d	e							
拖工状況	Ⅱ.工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている							
		●評価対象項目隣接する他の工事などとの工程	『整に取り組み、遅れを発生させることなくエ	事を完成させた。									
		地元及び関係機関との調整に取	り組み、遅れを発生させることなく工事を完成										
		工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。											
		工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。											
		災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。											
		工事施工場所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。											
		その他 [理由:]									
		Alather ++ Nta											
		●判断基準											
		上記該当項目を総合的に判断し	て、a、b、c、d、e評価を行う。										
	Ⅲ.安全対策	a	b	c	d	e							
	III.X 12.47/K	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている							
		●評価対象項目 建設労働災害及び公衆災害の[20]	ー 方止に向けた取り組みが顕著であった。	1	L								
		安全衛生を確保するための管理	体制を整備し、組織的に取り組んだ。	安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。									
		安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。											
		安全衛生を確保するため、他の	糞範となるような活動に積極的に取り組んだ。										
		安全衛生を確保するため、他の村安全管理に関する技術開発や創											
			意工夫に取り組んだ。										
		安全管理に関する技術開発や創	意工夫に取り組んだ。 取り組んだ。										
		安全管理に関する技術開発や創安全協議会での活動に積極的に	意工夫に取り組んだ。 取り組んだ。										
		安全管理に関する技術開発や創 安全協議会での活動に積極的に 安全対策に係る取り組みが地域 その他 (理由:	意工夫に取り組んだ。 取り組んだ。										
		安全管理に関する技術開発や創 安全協議会での活動に積極的に 安全対策に係る取り組みが地域。 その他 (理由:	意工夫に取り組んだ。 取り組んだ。 から評価された。										
		安全管理に関する技術開発や創 安全協議会での活動に積極的に 安全対策に係る取り組みが地域 その他 (理由:	意工夫に取り組んだ。 取り組んだ。 から評価された。										

(総括監督員)

考査項目 細別 対応事項 【事例】具体的な施工条件等への対応事例	
4 工事転換	
4. 工事特性 1. 施工条件等への 対応 1. 対象構造物の特殊性への対応 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 3. その他 1. 産業の単類高さ5m以上、凌漢工:10万m3以上、大学本ル(NATM):内空断面積: 施工深度等の規模が特殊な工事 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 3. その他 1. 産業の単均高さ5m以上、後漢工:10万m3以上、後漢工:10万m3以上、大学本ル(NATM):内空断面積: 施工(羽口、泥水加圧): ♦ 2000mm以上、樋管:30m以上、樋門以上、北門の扉体面積:50m2以上、砂防ダムの堤高さ:1 海岸堤防、護津、安堤又は雕岸堤の水梁:10加以上、地滑り防止工:幅50加以上又は延長80m以上、 6	
※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば4点の加点とする。 (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐機補強工事又は河道内流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、横浩物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山塊皮が低いて以まして対いが書かっため、FEM解析などによる検討が必要な工事。	
Ⅱ. 都市部の作業環境、社会条件等への対応 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 6. 周辺保民等に対する影響・振動を特に配慮する工事 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 10.その他 「理由: (4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーバスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 ・ 短視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 ・ 地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・ たのほか、各種制約があり、施工に特に触しい制限を受けた工事。 ・ そのほか、各種制約があり、施工に特に触しい制限を受けた工事。 ・ そのほか、各種制約があり、施工に特に触しい制限を受けた工事。 ・ にこいて)	
* ・ 市街地での夜間工事。 ・	
一	る工事。
(13.について) - 急峻な地形のため、作業構合や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工に・・・ 会しな地形のため、作業構合や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工に・・ 会面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 - 七石満危険浸流に指定された区域内における工事。 (14.について) - イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) - その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 - その他、災害等における監機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。	は除く)。
Ⅳ. 長期工事における安全確保への対応 ■16.12ヶ月を超える工事で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※ただし、文書注意に至らない事故は除く。 ■17.その他 〔理由: 〕	
※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。	
評 価 評 点 : <u></u>	

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。 ※2 評価にあたっては、主任監督員等の意見も参考に評価する。

(総括監督員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	(総 加 監 管 貝)
6. 社会性等	I.地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		定期的に広報紙の配布や現場 道路清掃などを積極的に実施し 地域が主催するイベントへ積極	取り組んだ。 を周辺地域の景観に合わせるなど、積 見学会を実施して、積極的に地域との	極的に周辺地域との調和を図った。 コミュニケーションを図った。 ンを図った。		
		●判断基準				
		上記該当項目を総合的に判断し	って、a、a'、b、b'、c評価を行う。			

(総括監督員)

考查項目	法会	遵守等の該当項目一覧え	(総括監督貝)
7.法令遵守等	1 real	211111111111111111111111111111111111111	A
1. 伝卫短寸寺	措 置 内 容	点数	7
	1.指名停止3ヶ月以上	-20点	-
	2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	
	3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	1
	4.指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	-
	5. 文書注意	- 8点	-
	6.口頭注意	- 5点	
	7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の 不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点	
	8.その他 [理由:]	- 点	法令遵守等
	9. 項目該当なし	減点無し	(左下邊寸等 京定点合計
	 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10.下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じているなど下請代金11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。 12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成 	≥支払遅延等防止法第4%	たに規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
	 13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行 土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている。 14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害 	る事実が判明した。	

別紙-3-1

考查項目別運用表(土木)

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。評価の対象としない項目には「×」印を記入する。 (検査員) 細 別 d е 他の評価に該当しない 2.施工状況 I.施工管理 やや優れている やや劣っている ●「評価対象項目」 契約書18条第1項第1号~5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 施工管理について、監督職員が 施工管理について、監督職員か 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されていると共に、設計図書の内容及び現場条件を 文書による改善指示を行った。 らの文書による改善指示に従わ 反映したものとなっていることが確認できる。 なかった。 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 その他 〔理由: ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・・b 該当項目が80%未満・・・・・・c ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

考查項目 3.出来形及び 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な 出来形の測定方法又は 出来形の測定方法又は 出来ばえ 項目について所定の測定基準 項目について所定の測定基準 I.出来形 項目について所定の測定基準 項目について所定の測定基準 測定項目について所定の 測定値が不適切であっ 測定値が不適切であっ に基づき行われており、測定値 に基づき行われており、測定値 測定基準に基づき行われ たため、監督職員が文書 たため、検査職員が修補 に基づき行われており、測定値 に基づき行われており、測定値 が規格値を満足し、そのばらつ が規格値を満足し、そのばらつ が規格値を満足し、そのばらつ が規格値を満足し、そのばらつ ており、測定値が規格値 で指示を行い改善され 指示を行った。 を満足し、a~b'に該当し きが規格値の概ね50%以内で、 きが規格値の概ね50%以内で、 きが規格値の概ね80%以内で、 きが規格値の概ね80%以内で、 下記の「評定対象項目」の4項 下記の「評定対象項目」の3項 下記の「評定対象項目」の3項 下記の「評定対象項目」の2項 ない。 目以上が該当する。 目以上が該当する。 目以上が該当する。 目以上が該当する。 ●「評価対象項目] 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 写真管理基準の管理項目を満足している。 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 その他 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき 所定の出来形を確保する管理体系である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 機械設備工事 優れている bより優れている やや優れている cよりやや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている ●〔評価対象項目〕 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 出来形の測定方法又は 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲であり、出来形の確認ができる。 出来形の測定方法又は 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 ※上記欄に 測定値が不適切であっ 測定値が不適切であっ よらず、当該 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 たため、監督職員が文書 たため、検査職員が修補 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 指示を行った。 欄で評価 で指示を行い改善され 途装管理基準の途膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 た。 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 設計図書に定められている予備品に不足がないことを確認できる。 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 その他 ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・a' 該当項目が70%~80%未満・・・・・b 該当項目が60%以上70%未満···· b' 該当項目が60%未満・・・・・・・c 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

	考査項目別連用表(土木)								
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(検 査 員) e	
3. 出来形及び出来ば		優れている	bより優れている	やや優れている	cよりやや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
I .出来形		●〔評価対象項目〕 据付に関する出来形す 機器等の測定(試験); 写真管理基準の出来形。 設備全般にわたり、形 機器及び材料の据付、 配管及び配線が設計 行先などを表示した名 配管及び配線の支持	管理が容易に把握できるよう、出来形 結果が、その都度管理図表などに記り 質目を満足している。 が写真で確認できる。 ていない出来形管理項目について、盟 状、寸法の実測値が許容範囲内であ 、固定方法が設計図書又は承諾図書 図書又は承諾図書通り敷設している、 札が、ケーブルなどに分りやすく堅固	管理図などを工夫していることが確認で 碌され、適切に管理していることが確認 を督職員と協議の上で管理していること ることが確認できる。 のとおり施工していることが確認できる ことが確認できる。	できる。 できる。 なが確認できる。		出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったため、監督職員が文書 で指示を行い改善された。	出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ たため、検査職員が修補 指示を行った。	
		該当項目が9 該当項目が8 該当項目が6 該当項目が6 該当項目が6 (1) 当該「項目が6 (2) 削除項目のある場 比率(%)計算の値 (3) 評価値(%)=	90%以上・・・・・ a 80%以上90%未満・・・ a 70%~80%未満・・・ b 50%以上70%未満・・・ b 50%未満・・・・ c 目」のうち、対象としない項目は削除 合は、削除後の評価項目数を母数として評価する。 該当項目数()/評価対象評価項 価対象項目数が2項目以下の場合に	して計算した 頁目数()					

	考查項目別運用表(土木)		(検 査 員)
考査項目 工 種	a a' b b' c	d	е
3. 出来形 ロンクリート 及び 構造物工事 出来ばえ	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙−4参照 ●評価対象項目	温質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
II. 品質	コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 工技作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 オ害なクラックが無い。 その他 「理由:		
	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断可能 が必以下 80%以下 80%以下 80%超 判断不可能 以上率(%)計算の値で評価する。 第四値(%) =該当項目数()/評価対象評価項目数() 事務 15%以上~90%未満 a a' b b' b' b' b' b' b' c c c </td <td></td> <td></td>		
土工事 (切土、盛土、 堤防等工事)	a a' b b' c 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙−4参照 ●評価対象項目	d 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	e 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 置換えのための規削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っているのを確認できる。 本別主の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 と取土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 とBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 法面に有害な亀裂が無い。 (文開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。	20-11C 11 - WA EC 4 V/C0	34-7-6-13 27-0
	その他 (理由:) ばらつきで判断可能 ばらつきで ばらつきで判断可能 ばらつきで 2 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 判断不可能		
	比率(%)計算の値で評価する。 (3) 評価値(%) =該当項目数() / 評価対象評価項目数() (4) なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	i)だけで評価する。	

								与国	[項目別運	用衣(」	_/\\)							(検 査	
考査項目	工種	a			a'		1	b			b'			С		d			е	
	·根固· 工事	品質関係の試動 「関連基準」と対 ・ はばらつき面が ・ 加速を変す ・ 加速を変す ・ 加速を変す ・ 加速を変す ・ 一型を変す ・ 一変を変す ・ 一変を変す ・ 一変を変す ・ 一変を変す ・ 一変を変す ・ 一変を変す ・ 一変を ・	木工事施組 開いてはいます。 特には、 はいまではいまでは、 は	工管理基準、 K - 4参照 げていることが カリートの締固が 、法枠のかごすさ、 たの処理が適切で 品質、配合及と 捨石工等におる ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	その他設計図 確認できる。 かを、空における かり、等に図を埋がが設計の必要がで が設計の必要がで がで、端養、材料の でできる。 でできる。 していることが	型書に定められ 生じないよう十・ る材料のかみい な強度及び水が が設計図書の仕様 連結及びかみる び確認できる。	た試験」 分に行ってい 合わせ又にはが でいることが 密性を満足して と様を満足してい	いることがみ 連結が、裏 確認でき ていること ていることが	作認できる。 公材の吸出しる。 とが確認できる。 が確認できる。 確認できる。	0	行っているこ	ことが確認で			測定ため	関係の測定に 値が不適切っ 監督職員が を行い改善さ	であった 文書で	測定値	系の測定す が不適切で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ぎあった
		施工にあたって 埋戻し材料につ 有害なクラックが その他	、床 、床 い ・ が 乗 す よ す よ り よ す よ り よ よ よ	所の湧水及び 設計図書の仕様 し」のうち、対象で には、削除後の診 評価する。 該当項目数(滞水等は、排 を満足してい としない項目が 平価項目数を)/評価対象	非除して施工しいることが確認は は削除する。 母数として計算	できる。	評価値	90%以上 75%以上~96 60%以上~75 60%未満	5%未満	50%以下 a a' b b'	ばらつきで判 80%以 a' b b' c)判断ができ	下 80%超 b b' c	ばらつきで 判断不可能 b b' c c 玩対象項目(評価	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	₹価する。				
(RCF		a 品質関係の試験 「関連なっきの判 」 「関連なっきの判 」 「関連なっきの判 」 「関連なりでは のでででである。 「関係を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。 「対象を表する。」 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。」 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を表する。 「は、対象を、対象を、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、まする。 「は、対象を、する。 「は、対象を、する。 「は、対象を、まする。 「は、する。 「も。 「は、する。 「は、する。 「は、する。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も。 「も	木工事別組 出り、溶工計画は にとり、変工により、金にいるが、 を主き、のでは、 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	工管理基準、4 低-4参照 E明する書類類 足間の枝量確認 は耐事を提用して はいことが確認 にいことが確認 には、一次では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	その他設計図 は現物により を行が設けがるさんできる。 いることでもて施工をもっている。 燥時間以空である。 慢時間以空である。 慢により、製造	関告に定められ)照合している。 ことが確認できまいできる。 ま認できる。 、きめ細やかい こしていることが 企風前処理塗装 ることが確認で ちまれていることが を加えているとが を加えている を加えている をしな をしな をしな をしな をしな をしな をしな をしな	価値)から判断 た試験] ことが確認できる。 としていること こ製作している。 な確認できる。 接を実施してい 者号、色彩、	きる。 こが確認で ることが確 いることが	きる。記できる。		b'		① 当該「評価 ② 削除項目の 比率(%)計 ③ 評価値(④ なお、削除 呼 90%以上 75%以上~	文が象項目」のうち ある場合は、削別 第の値で評価す %) = 該当項目 後の評価対象項 5 -90%未満 -75%未満	測定 た 指示 、対象とし 余後の評価 る。 数()/ [目数が2項	項目数を母数 /評価対象評	であった 文書で いれた。 川除する。 数として計 に価項目数 合は「c」評	測定値が ため、検 指示を介 算した () () (ばらつ)	きで可能	あった
		ボルトの締付機 高力ボルトの稀 高力ボルトの稀 支承の据付で、 架設に用いるで 現場塗装にのたって 現場塗装においるの 現場塗装におい その他	め付けを 質が、証 コンクリー 、部材の 、設備及で アレン及で	、中心から外側 明書類で確認 ート面のチッピン の応力と変形等る び架設用機材し が膜厚管理を通	側に向かって行 できる。 ング及び仕上 を十分検討し こついて、品質切に行ってい	行っていること げ面に水切勾 ていることが確 質、性能が確認 いることが確認	が確認できる 可配がついてい に認できる。 呆できる規模 いできる。	う。 いることが 及び強度	を有して確認	しているこ	とが確認でき			J点数等が少なく(目 (評価値)だけ			場合は、			

檢 杳 昌

考查項目 工種 3. 出来形 砂防構造物工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 及び 測定値が不適切であった 出来ばえ 地すべり防止工事 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、検査職員が修補 ため、監督職員が文書で 集水井工事 指示を行い改善された。 ●評価対象項目 指示を行った。 Ⅱ. 品質 と含む) 【共通】 コンクリート配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 地山との取り合わせを適切の行っていることが確認できる。 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 有害なクラックが無い。 その他 〔理由: 【砂防構造物工事に適用】 コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 アンカーの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 その他 【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む】 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 その他 「理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 80%以下 80%超 90%以上 75%以上~90%未満 h b' 60%以上~75%未満 b b' С С 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

	考査項目別連用表(土木)		(検 査 員)
考査項目 工 種	a a' b b' c	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ●評価対象項目 【烙床・路盤工関係】 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工しているのが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工しているのが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工しているのが確認できる。 路路の安定処理は材料が均一になるよう施工しているのが確認できる。 路殊感土に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層毎に緒固めて施工していることが確認できる。 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 その他 【理由:	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
	【アスファルト論族工関係】 「アスファルト語族工関係】 「アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 舗装工の施工あたって、上層路整面の評されなどの有容物を除去していることが確認できる。 ブラント出荷時、現場到着時、総認時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 歯試を仮の発明散が、定められた条件を満足していることが確認できる。 各層の能ぎ目の位置が、設計図書いた構造していることが確認できる。 「アスファルト混合物の運搬及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c. 最大得材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 一名の他 「理由: 「理由: 」 「建油・ファール・配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c. 最大得材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 一名の他 「理由: 」 「理由: 」 「経輸強度試験に使用したコンのリート供款体が当該現場の供款体であることが確認できる。 「正確強度試験に使用したコンのリート供款体が当該現場の供款体であることが確認できる。 「理解時間、打弦力法及び棄生方法法、施工条件及び象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 「オーデータびライバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 「オーデータびライバーを損傷などが発生しないまう保管していることが確認できる。 「理由: 」 「理由: 」 「理由: 」 「はらつきで判断可能 ばらつきで、第日に利除後の評価項目数といか、第1日に利除をい評価である。 「理由: 」 「はらつきで判断可能 ばらつきで 割り、2日に対していることが確認できる。 「オーデータびジイバーを損傷などが発生しないまう保管していることが確認できる。 「理由: 」 「おり、評価対象項目のある場合は、削除後の評価項目数と日数として計算した 比率(S)計算の値で評価する。 」 「はらつきで判断可能 ばらつきで 割り		

檢 杳 昌

考查項目 3. 出来形 法面工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。 ●評価対象項目 指示を行った。 Ⅱ. 品質 【共通】 | 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) 施工に関して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 その他 「理由: 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 吹付厚さが均等であることが確認できる。 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 その他 〔理由: 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 使用する材料の種類、品質、及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 金網が破損を生じていないことが確認できる。 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 その他 「理由: 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 枠内に空隙が無いことが確認できる。 層間にはく離が無いことが確認できる。 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 その他 「理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 比率(%)計算の値で評価する。 90%UF a h h 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() 75%以上~90%未満 b' ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

檢 杳 昌

考查項目 工種 3. 出来形 基礎工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打・深礎等)】 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 水平度、鉛直度等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質管理に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 その他 〔理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 判断不可能 比率(%)計算の値で評価する。 h ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() 75%以上~90%未満 h' 価 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 h c 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 海岸工事 品質関係の測定方法又は 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 圧縮強度試験に使用した供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 転倒や崩壊等が無いようにコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び待避設備の対策を講じていることが確認できる。 その他 ばらつきで判断可能 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 判断不可能 80%超 比率(%)計算の値で評価する。 90% DI E b ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() 75%以上~90%未満 h' h' 価 4) なお. 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 b c С 60%未満 C ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

檢 杳 員

考查項目 工種 3. 出来形 コンクリート橋 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 上部工事 測定値が不適切であった 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 出来ばえ (PC及びRCを ため、検査職員が修補 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で 対象) 指示を行い改善された。 ●評価対象項目 指示を行った。 Ⅱ. 品質 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 |施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 プレビーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 使用する装置及び機器のキャリブレーッションを事前に実施していることが確認できる。 PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 コンクリートの圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 有害なクラックが無い。 その他 〔理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 80%以下 90%以上 比率(%)計算の値で評価する。 評 75%以上~90%未満 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() b' h ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

檢 杳 員

老杏項目 塗装工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 3. 出来形 品質関係の測定方法又は 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ケレンを入念に実施していることが確認できる。 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 途料を使用前に攪拌し、容器の途料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 塗料の品質が出荷証明書、塗装成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 その他 〔理由: 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%招 比率(%)計算の値で評価する。 90%以上 b ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数(75%以上~90%未満 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 値 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 トンネル工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 設計図書に定められた岩区分(支保エパターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 ロックボルトの定着長が、設計書の使用を満足していることが確認できる。 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。。 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 その他 「理由: 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 比率(%)計算の値で評価する。 5%以上~90%未満 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 b 値 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

檢 杳 員

老杏項目 工種 植栽工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 3. 出来形 測定値が不適切であった 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、検査職員が修補 ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 樹木等の生育に害のある害虫等がいないことが確認できる。 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥しているのことが確認できる。 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 その他 〔理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 判断不可能 比率(%)計算の値で評価する。 90%以上 h ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() 75%以上~90%未満 b' b 価 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 値 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 防護柵(網)・ 標識•区画線 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 等設置工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 ●評価対象項目 指示を行い改善された。 指示を行った。 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いように施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書で定められた強度以上であることが確認できる。 ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの量が、10%以下であることが確認できる。 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 〔理由: 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した。 50%以下 80%以下 80%超 判断不可能 比率(%)計算の値で評価する。 90%以上 b ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数()④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 75%以上~90%未満 h' h h' 価 С ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検 査 員 考查項目 3. 出来形 電線共同溝 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 及び 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 指示を行い改善された。 指示を行った。 ●評価対象項目 Ⅱ. 品質 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 その他 〔理由: ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで 判断不可能 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した。 50%以下 80%以下 80%超 比率(%)計算の値で評価する。 90%以上 h ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 75%以上~90%未満 b' 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

				·-/ <u>-1</u>	(上/)			(検査員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	維持工事 (清掃工、除草工 付属物工、除雪、 応急処理等)	構造物の劣化状活 監督職員の指示	品質・形状等が適切であり、かつ現場にお 呪をよく把握して、適切な対策を施してい 事項に対して、現地状況を勘案し、施工力 おいて、迅速かつ的確に対応していること	ることが確認できる。 F法や構造についての提案を行うなど和		確認できる。	温質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
Ⅱ. 品質		その他(理	曲:)				
		その他 「理	!由:]				
		その他〔理	!由:)				
		その他 「理	!由:)				
			[目・・・・・・a' [目・・・・・・b [目・・・・・・b'	目を追加して評価するものとする。				
	修繕工事	a	a'	b	b'	С	d	е
	(橋脚補強 耐震補強、 落橋防止等)	構造物の劣化状況 監督職員の指示 施工後のメンテナ	品質・形状等が適切であり、かつ現場にお 況をよく把握して、適切な対策を施してい 事項に対して、現地状況を勘案し、施工方 ンスに対する提言や修繕サイクル等を勘	ることが確認できる。 f法や構造についての提案を行うなど利	貨極的に取り組んでいることが	が確認できる。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
			曲:)				
	_	その他 <u>[理</u>	曲:]				
		その他 「理	曲:]				
		その他 「理	!曲:	J				
		●判断基準 ※該当項目が6項 ※該当項目が5項 ※該当項目が4項 ※該当項目が3項 ※該当項目が3項	頁目····································					
			須の評価対象項目とし、この他に適宜項 項目は最大8項目とする。	目を追加して評価するものとする。				

考查項目	工種	a	a'	b	h'	C	d	e	
3. 出来形	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は	品質関係の測定方法又は	
及び		●評価対象項目		1 1 0001 - 1 - 0			測定値が不適切であった	測定値が不適切であった	
出来ばえ			かの書類(現物照合)を整理し品質の	在限 ができる			ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
山木はん							指示を行い改善された。		
TT 17 66			が、承諾図書のとおり確保され、品質		有小を11い以書された。	指示を行った。			
Ⅱ. 品質			はえた詳細設計を行い、品質の確認が						
			こ係わる成績書が整理され、品質の研						
			管理項目について、品質管理書類を						
			管理項目について、品質管理書類を						
				のとおり配置され、操作性にすぐれて					
			装置及び保護装置の機能・性能確認						
		小配管、電気配線、配	管が承諾図書のとおり敷設しているこ						
		設備の取扱説明書を	E夫していることが確認できる。						
		部品等の点検及び交換	奥方法について、完成図書(取扱説明						
		機器の配置が点検しる	マすいよう工夫していることが確認でき						
		機器の構造や配置に	ついて、交換頻度の高い部品等の交						
			計験及び試験練りを実施し、試験成						
			態を示すラベルなどを見やすい状態で						
			目範囲を見やすく表示していることが						
			た 危険 箇所に表示又は 防護をしている						
			世握して、適切な対策を施しているこ						
			工方法等についての提案を行うなど						
		Z-0/4	エガ伝寺についての旋糸を打りなる	関係的に取り組んでいることが推認で	<u>-</u> ⊘₀				
		での他 〔理由:)					
		A startifier +++ Sitte							
		●判断基準	A VIAL FOR	tru to the state of the state o	V Willey Joseph				
		※評価値が90%以上		価対象項目」のうち、対象としない項目					
		※評価値が80%以上		のある場合は,削除後の評価項目数	と母数として計算した				
		※評価値が70%以上		計算の値で評価する。					
		※評価値が60%以上		%)=該当項目数()/評価対					
		※評価値が60%未満	·················c ④ なお、削	除後の評価対象項目数が2項目以下	の場合は「c」評価とする。				
					. 1	1			
	電気設備工事	a	a´	b	b'	C	d	е	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は	品質関係の測定方法又は	
				■評価項目 D3つ後4レビャの 「					
				測定値が不適切であった	測定値が不適切であった				
			P性能の確保に係る技術検討を実施し				ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合	の結果が品質証明書等(現物照合を	含む)で確認でき、設計図書の仕様を	満足していることが確認できる。				
		材料・部品の品質照合	の結果が品質証明書等(現物照合を		満足していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
	_	材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び	の結果が品質証明書等(現物照合を	:含む)で確認でき、設計図書の仕様を にまとめられていることが確認できる。	満足していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示灯	・の結果が品質証明書等(現物照合を が性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性	:含む)で確認でき、設計図書の仕様を にまとめられていることが確認できる。			ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スイッチや表示灯ケーブル及び配管の	・の結果が品質証明書等(現物照合を が性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性	・含む)で確認でき、設計図書の仕様を ドにまとめられていることが確認できる。 Eにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合			ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スイッチや表示灯ケーブル及び配管の対設備の機能及び性能	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足しているこ	・含む)で確認でき、設計図書の仕様を ドにまとめられていることが確認できる。 Eにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合	が無いことが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スペチや表示ケケーブル及び配管のも設備の機能及び性能と操作制御関係の機能	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足しているこ 及び性能が、設計図書の仕様を満足	合む)で確認でき、設計図書の仕様/ にまとめられていることが確認できる。 にすぐれていることが確認できる。 战された手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及び	が無いことが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スイッチや表示質ケーブル及び配管のも設備の機能及び性能・操作制御関係の機能。設備の総合性能が、認	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 奏続などの作業が、施工計画書に記書 が、設計図書の仕様を満足していることが 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが は計図書の仕様を満足していることが	・含む)で確認でき、設計図書の仕様/ にまとめられていることが確認できる。 にすぐれていることが確認できる。 或された手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及で 確認できる。	が無いことが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチで表示灯 ケーブル及び配管の打 設備の機能及び性能 操作制御関係の機能。 設備の総合性能が、影 現場条件によって機器	の結果が品質証明書等(現物照合を P性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記載 が、設計図書の仕様を満足しているこ 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが 食計図書の仕様を満足していることが は関品の機能及び性能が確認できる。	合む)で確認でき、設計図書の仕様をにまとめられていることが確認できる。 にすぐれていることが確認できる。 战された手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで確 ない場合において、工場試験などで確	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び、 操作スインチや表示灯 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 操作制御関係の機能。 設備の後能、 設備の合性能が、 現場条件によって機器 設備全体についてのE	の結果が品質証明書等(現物照合を が性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していることが、 設計図書の仕様を満足していることが、 設計図書の仕様を満足していることが、 は計図書の仕様を満足していることが、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	・含む)で確認でき、設計図書の仕様をにまとめられていることが確認できる。まにすぐれていることが確認できる。 成された手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで確 修(改造・更新含む) の場合は、修正又	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スイッチや表示がケーブル及び配管のお設備の機能及び性能。操作制御関係の機能。設備の総合性能が、認見場条件によって機器設備全体についての影点成図書で定期的なが	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していること 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を選足していることが。 は計図書の機能を選足していることが。 は対しの機能を選足していることが。 は対して、といるとが、 は対して、 をがし、 をがし、	会む)で確認でき、設計図書の仕様?にまとめられていることが確認できる。 まにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て を記ります。 はい場合において、工場試験などで確 に、後正又 明示していることが確認できる。 明示していることが確認できる。	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び、操作スインチや表示灯ケーブル及び配管のも設備の機能及び性能。操作制御関係の機能。設備の後を合性能が、影現場条件によって機器設備全体についての原完成図書で定期的な、機器の構造や配置によっな機器の構造や配置によっな。	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していること 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を選足していることが。 は計図書の機能を選足していることが。 は対しの機能を選足していることが。 は対して、といるとが、 は対して、 をがし、 をがし、	・含む)で確認でき、設計図書の仕様をにまとめられていることが確認できる。まにすぐれていることが確認できる。 成された手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで確 修(改造・更新含む) の場合は、修正又	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び操作スイッチや表示がケーブル及び配管のお設備の機能及び性能。操作制御関係の機能。設備の総合性能が、認見場条件によって機器設備全体についての認定成図書で定期的なが	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していること 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を選足していることが。 は計図書の機能を選足していることが。 は対しの機能を選足していることが。 は対して、といるとが、 は対して、 をがし、 をがし、	会む)で確認でき、設計図書の仕様?にまとめられていることが確認できる。 まにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て を記ります。 はい場合において、工場試験などで確 に、後正又 明示していることが確認できる。 明示していることが確認できる。	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能及び、操作スインチや表示灯ケーブル及び配管のも設備の機能及び性能。操作制御関係の機能。設備の後を合性能が、影現場条件によって機器設備全体についての原完成図書で定期的な、機器の構造や配置によっな機器の構造や配置によっな。	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していること 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を選足していることが。 は計図書の機能を選足していることが。 は対しの機能を選足していることが。 は対して、といるとが、 は対して、 をがし、 をがし、	会む)で確認でき、設計図書の仕様?にまとめられていることが確認できる。 まにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て を記ります。 はい場合において、工場試験などで確 に、後正又 明示していることが確認できる。 明示していることが確認できる。	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機能及の品質、機能の品質、機能及の場で、機能及び性能、分・一ブル及び配管の対象 設備の機能及び性能、操作制御関係の機能。設備の機能は、設備の機能は、表して、表して、表して、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、	の結果が品質証明書等(現物照合を 性能が設計図書を満足して、成績書 が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事 が、設計図書の仕様を満足していること 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を選足していることが。 は計図書の機能を選足していることが。 は対しの機能を選足していることが。 は対して、といるとが、 は対して、 をがし、 をがし、	会む)で確認でき、設計図書の仕様?にまとめられていることが確認できる。 まにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及て を記ります。 はい場合において、工場試験などで確 に、後正又 明示していることが確認できる。 明示していることが確認できる。	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能を受け、操作スイシチを表示灯ケーブル及び配管の対象備の機能及び性能、設備の機能及び性能・設備の総合性能が、認明場条件によって機器設備全体についての同完成図書で定期的なが機器の構造や配置によるの他 「理由:	の結果が品質証明書等(現物照合を が能解的 を が承諾図書のとおり配置され、機律性 を続などの作業が、施工計画書に記載 が、設計図書の仕様を満足しているこ 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 設計図書の仕様を満足していることが。 は計図書の仕様を満足していることが。 は別の機能及び性能が確認できる。 は別の機能及び性能が確認できる。 は一般を変換を要する部品及び箇所を といて、点検や消耗品の取替之作業	会む)で確認でき、設計図書の仕様をにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 改された手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 とい確認できる。 といるともは、必要な安全装置及で を認できる。 ない場合において、工場試験などで确 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが	が無いことが確認できる。 《保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機器の品質、機能みの品質、機能及び操作スイッチや表示がケーブル及び配管の打設備の機能及び性能・設備の総合性能が、該現場条件によって機器設備全体についての同元成図書で定期的なが機器の構造や配置に、その他 ・判断基準 ※評価値が90%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記事が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の性様を満足していることが、設計図書の性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業	会む)で確認でき、設計図書の仕様をにまとめられていることが確認できる。 はされて手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及で 確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及で 確認できる。 ない場合において、工場試験などで確 負(改造・更新含む)の場合は、修正又明示していることが確認できる。) 「動な現目のうち、対象としない項目	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 ま更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スインチや表示灯 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能 操作制御関係の機能。 設備の後能。 設備の合性能が、影 現場条件によって機器 設備全体についての 完成図書で定期的な 機器の構造や配置にこ その他 ●判断基準 ※評価値が90%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記述が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが計図書の仕様を満足していることがは、とは、とは、というでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないで、は、ないでは、できないで、は、ないでは、できないでは、できないで、は、ないでは、できないで、は、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	会む)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 まにすぐれていることが確認できる。 まされた手順に沿って行われ、不具合とが確認できる。 しているとともに、必要な安全装置及で 確認できる。 ない場合において、工場試験などで確 れく場合において、工場試験などで確 れい場合において、工場試験などで確 れい場合において、工場試験などで確 ない場合において、工場試験などで確 ない場合において、工場試験などで確 ない場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 ま更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機能の品質、機能の品質、機能の品質、機能及で機能との性能、要備の機能及び性能、設備の機能とので性能が、認明場条件によって機器。設備全体について向完成図書で定期的な、機器の構造や配置にその他 ●判断基準 ※評価値が90%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が70%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記載 が、設計図書の仕様を満足しているこ 及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが。 設計図書の仕様を満足していることが は計図書の仕様を満足していることが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが は計図書の仕様を満足しているとが はいて、点検や消耗品の取替え作業 はいて、点検や消耗品の取替え作業 のの必以下・・。 20 削除項目 といて、に 20 削除項目 といるに、 20 削除項目 20 削除列目 20	会む)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 にすぐれていることが確認できる。 或された手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるとともに、必要な安全装置及で 在認できる。 い場合において、工場試験などで確 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 「認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 なま更新)といることが確認できる。 なまます。		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示了 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 製作制御関係の機能。 設備全体についての同 完成図書で定期的なが 機器の構造や配置にこ その他 「理由: ●判断基準 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会か)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 とされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで硝 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが 「しのある場合は、削除後の評価項目数・計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※になっている。とが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合機能の品質、機能の品質、機能の品質、機能及で機能との性能、要備の機能及び性能、設備の機能とので性能が、認明場条件によって機器。設備全体について向完成図書で定期的な、機器の構造や配置にその他 ●判断基準 ※評価値が90%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が70%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会む)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 にすぐれていることが確認できる。 或された手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるとともに、必要な安全装置及で 在認できる。 い場合において、工場試験などで確 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示了 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 製作制御関係の機能。 設備全体についての同 完成図書で定期的なが 機器の構造や配置にこ その他 「理由: ●判断基準 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会か)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 とされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで硝 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが 「しのある場合は、削除後の評価項目数・計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※になっている。とが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示了 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 製作制御関係の機能。 設備全体についての同 完成図書で定期的なが 機器の構造や配置にこ その他 「理由: ●判断基準 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会か)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 とされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで硝 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが 「しのある場合は、削除後の評価項目数・計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※になっている。とが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示了 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 製作制御関係の機能。 設備全体についての同 完成図書で定期的なが 機器の構造や配置にこ その他 「理由: ●判断基準 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会か)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 とされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで硝 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが 「しのある場合は、削除後の評価項目数・計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※になっている。とが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	
		材料・部品の品質照合 機器の品質、機能及び 操作スイッチや表示了 ケーブル及び配管の材 設備の機能及び性能: 製作制御関係の機能。 設備全体についての同 完成図書で定期的なが 機器の構造や配置にこ その他 「理由: ●判断基準 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が80%以上	の結果が品質証明書等(現物照合を)性能が設計図書を満足して、成績書が承諾図書のとおり配置され、操作性 接続などの作業が、施工計画書に記が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕様を満足していることが表(製品)の機能及び性能が確認できる国面や取扱説明書を工夫し作成(修約点検や交換を要する部品及び箇所をおいて、点検や消耗品の取替之作業のの、は、点検や流流・と、100%と表に、100%と表に、100%と表に、100%を表に、100%	会か)で確認でき、設計図書の仕様だにまとめられていることが確認できる。 はされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 とされた手順に沿って行われ、不具合 とが確認できる。 といるともに、必要な安全装置及て 確認できる。 ない場合において、工場試験などで硝 を(改造・更新含む)の場合は、修正又 明示していることが確認できる。 が容易にできるよう工夫していることが 「しのある場合は、削除後の評価項目数・計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※の)=該当項目数()/評価 ※になっている。とが	が無いことが確認できる。 「保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 は更新)していることが確認できる。 確認できる。 は削除する。 は削除する。 と母数として計算した 象評価項目数()		ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補	

								(
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形	通信設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は	品質関係の測定方法又は
及び	•受変電設備	●評価対象項目	-0.2 (24.1 - 1 - 0	1 1 0001 - 1 1 0		10 - 11 lies - 17 - 1 - 18 1	測定値が不適切であった	測定値が不適切であった
				100 h w				
出来ばえ	上 事		いる品質管理を実施していることが確認				ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補
		材料及び構成部品の	品質及び形状について、設計図書等	と適合が確認できる証明書等を整備し	ていることが確認できる。		指示を行い改善された。	指示を行った。
Ⅱ. 品質				で確認でき、設計図書の仕様を満足し			78 7 G 77 - 94 D G 77 - 0	711 4 2 11 1 1 - 1 - 0
11. 加貝		が付り的貝思言を大	い、印具体証音寺(先初照古を古む)	で確認でき、設計凶音の仕様を何足し	ノしていることが唯能できる。			
		設備、機器の品質、機	能及び性能が成績等で確認でき、説	は計図書の仕様を満足していることが確	認できる。			
		ケーブル及び配管の打	接続などの作業が、施工計画書に記	載された手順に沿って行われ、不具合	が無いことが確認できる。			
			性能が所定の能力を満足しているこ					
					7 = 1 1° m+=== - 2 7			
				が容易に判断できる資料を整備してい				
		完成図書において、単	4体品の製造年月目及び製造者が判	別できる資料を整備していることが確認	2できる。			
		設備全休及び各機器	において 設計図書に担定した品質	及び性能を工場試験記録により確認で	きろ			
			図面や取扱説明書を工夫していること		C 400			
			点検や交換を要する部品及び箇所を					
		機器の構造や配置には	おいて、点検や消耗品の取替え作業	が容易にできるよう工夫していることが	確認できる。			
		その他(四十						
		(理由:		J				
1		●判断基準						
		※評価値が90%以上	<u> </u>	価対象項目」のうち、対象としない項目	け削除する			
		※評価値が80%以上		目のある場合は,削除後の評価項目数を	を母数として計算した			
		※評価値が70%以上	80%未満・・・b 比率(%))計算の値で評価する。				
		※評価値が60%以上		(%)=該当項目数()/評価対	象証価項目粉()			
		※評価値が60%未満		除後の評価対象項目数が2項目以下				
		※評価値が60%末海	(4) なわ、用	床後の評価対象項目級が2項目以下	の場合は C 評価と 9 る。			
	建築工事	a	a'	b	b'	c	d	e
	在未上于	●評価対象項目				Ü	日所則核の測点七次フは	品質関係の測定方法又は
			######################################	N			品質関係の測定方法又は	
		材料・製品の品質が、	製作図等により確認でき、設計図書	ど満足していることが確認できる。			測定値が不適切であった	測定値が不適切であった
		施工の各段階における	5完了時の試験及び記録の方法が、	適切であることが確認できる。			ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補
			の内容が、適切であることが確認でき				指示を行い改善された。	指示を行った。
							1月772117 以音040/2。	1日小で11.2/こ。
	_		うりやすく整理されていることが確認て					
		施工の品質が適切では	あり、設計図書を満足していることが 確	奮認できる。				
		建具、ユニット等の性能	能及び機能に関する確認方法が適切	Jであり、記録の内容が設計図書を満足	していることが確認できる。			
			Lの品質が、施工記録等により確認で		O CT DCCN NEWS CC DO			
					_			
)確認でき、良好であることが確認できる				
		その他の工事(躯体・P	内外仕上げを除く)における施工の品	質が、施工記録等により確認でき、良り	好であることが確認できる。			
		不可視部分の品質が	工事写真、施工記録により確認でき	7				
			での工夫や良好な施工の品質が、継	旅しく唯秘できる。				
		その他 「理由:		ì				
		(理用:		J				
1								
1		▲ Varibles, 111 Webs						
1		●判断基準	I 	the title and the control of the con	1			
		※評価値が90%以上	a ① 当該「評	「価対象項目」のうち、対象としない項目	は削除する。			
		※評価値が80%以上	90%以下···a' ② 削除項	目のある場合は、削除後の評価項目数を	を母数として計算した			
		※評価値が70%以上		計算の値で評価する。	273,00 (11370)			
					to the format will (
		※評価値が60%以上		(%)=該当項目数()/評価対				
		※評価値が60%未満	・・・・・・・・・・・c④ なお、削	除後の評価対象項目数が2項目以下	の場合は「c」評価とする。			
			<u></u>		<u>,</u>			
1								
1								

				与	査項目別運用表(土木)			(検 査 員)
考査項目	工種	a	a	b	b'	С	d	e e
3. 出来形 及び	港湾築造工事(浚渫、海岸築造工事を含む)	●評価対象事情を 一項等電子ででは 一項を 一項を 一項を 一項を 一項を 一項を 一項を 一項を	定められている品質管理が実 及び形状が設計図書等との適 環境保全に十分注意して施工 工上の注意事項(村住様書等に 込まないよう置換材を投入した。 (ションパイルが連続した一様なかい。) グションパイルが連続した一様なかい。 グションパイルが連続した一様の がからかいが、 (地球で、) がいからかい。 (世様とので、) との打込み記録から、 はなく施工され、記録により確認 とび機固め石がめるみのない。 との打止めの事で、 との指しまので、 との指しまで、 との注意事項(仕様書等により を を が、ので、 との注意事項(仕様書等に に が、の施工上の注意 を でいったで、 とのに を でいったで、 とのに を でいったで、 とのに を でいったで、 とのに を でいったで、 とのに を でいったで、 とのに と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいったで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と でいるで、 と で と で に は に し に は に り に し に し に し に に に に に に に に に に に に	施されている。 切性確認ができ証明書が整備されている。 していることが確認できる。 よる。)が守られている。 いることが確認できる。 状に施工され、記録により確認できる。 は本形状に施工され、記録により確認できる。 は本形状に施工され、記録により確認できる。 なかお状に施工され、記録により確認できる。 なお出質の施工が確認できる。 たう堅固に施工され、記録により確認できる。 たう堅固に施工され、記録により確認できる。 は損に注意して施工され、記録により確認できる。 を含む)で確認できる。 、整備され、かつ記録が確認できる。 3)が守られている。 事項(仕様書等による)が守られている。 事項(仕様書等による)が守られている。	きる。		品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
			【理田:		J			
		その他	〔理由:]			
		※評価値がる※評価値がる※評価値がる	90%以上···········a 80%以上90%以下····a' 70%以上80%未満···b' 60%以上70%未満···b' 60%未満············c	 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象。 ② 削除項目のおる場合は、削除後の診 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数(④ なお、削除後の評価対象項目数が 	平価項目数を母数として計算した)/評価対象評価項目数()			

考査項目	上 種	a	a		b	b´	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 品質	交通安全施設 (歩道) 工事	構造物の施 構造物の布 路盤材の敷 設計図書に 混合物の敷	き均し及び締固めを適切な条 舗装の強度・アスファルト量等 【理由:	いる。 忍できる。(機械・ノ 件・方法で施工し 試験練りが実施さ 件・方法で施工し	∖力) ている。 ⊱れ、適切な規格が確認できる。			温質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
		その他	〔理由:)				
		●判断基準 ※評価値が ※評価値が ※評価値が ※評価値が	四曲: 90%以上・・・・・・・・・・ 80%以上90%以下・・・・。 70%以上80%未満・・・ 60%以上70%未満・・・ 60%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② 削除項目 比率(%) ③ 評価値(画対象項目」のうち、対象としない項目 のある場合は、削除後の評価項目数 計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価対 除後の評価対象項目数が2項目以下	を母数として計算した 象評価項目数()			
	地盤改良工事	材料の品質が安定シートの 改良材のバッセメントミルク 事前に土質に 施工箇所がが、サンド・マットラー・サンド・なーパードル・サンドコンパッ アロッドコンパッ深層混合処。	試験を実施し、改良材の選定 均一に改良されているとともに	切性確認ができまいるのが記録により いるのが記録により というの仕様を満 ま等の管派加度と が表すのでは、 ・十分な強度及で いれていること、 にがに、 にでいるに、 にがに、 がな形質の施工が になるにいる になるにないない。 になった。 にないできました。 にないできます。 にないでもないできます。 にないでもないでもないでもないで。 とないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	確認できる。 足していることが確認できる。 整理していることが確認できる。 定等を行っていることが確認できる。 で支持力を確保していることが確認できる。 は、写真等により確認できる。 最により確認できる。 記録により確認できる。 れ、記録により確認できる。 確認できる。	b'	С	は 副質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	e 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
		その他	〔理由:)				
		その他	〔理由:)				
		その他	〔理由:)				
		※評価値が8※評価値が3※評価値が6	90%以上・・・・・・・a 80%以上90%以下・・・a' 70%以上80%未満・・・b 30%以上70%未満・・・b' 60%未満・・・・・・・・・・・・	② 削除項目 比率(%) ③ 評価値(価対象項目」のうち、対象としない項目 のある場合は、削除後の評価項目数 計算の値で評価する。 %)=該当項目数()/評価対 除後の評価対象項目数が2項目以下	を日数として計算した 象評価項目数()			

檢 杳 員

考查項目 3. 出来形 二次製品構造物 ●評価対象項目 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 及び 【共通】 測定値が不適切であった 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 ため、検査職員が修補 出来ばえ ため、監督職員が文書で 材料の品質規定証明書が整備されている。 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 IIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。 基礎地盤の成形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 二次製品の保管、吊り込み、据付等に十分注意を払っていることが確認できる。 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。 【擁壁類(補強土擁壁は除く)】 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥が無い。 材料の連結または、かみ合わせが適切である。 端部における地山とのすり付けが適切である。 ▼丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込材の厚さの確保のため細心の注意を払っている。 コンクリート板擁壁工の施工に当たり、ソイルコンクリートの配合、練り混ぜ、打ち込み、締固め及び養生が適切に行われている。 【用排水施設】 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 不同沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に念入りに行われている。 呑口、吐口、集水桝等の取付コンクリートにクラック等の欠陥がない。 施設の流末は浸食、滞留等が生じないように処理されている。 不同沈下の発生が無く、基礎コンクリートの亀裂や継ぎ目部からの漏水も見られない。 継ぎ目部の目地モルタルが適切に施工されている。 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。 製品の継ぎ目部には、隙間、ズレが無く、適切に施工されている。 その他 〔理由: ※評価値が90%以上・・・・・・・a 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ※評価値が80%以上90%以下···a 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した ※評価値が70%以上80%未満···b 比率(%)計算の値で評価する。 ※評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ※評価値が60%未満・・・・・・・c ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 補強土壁工事 ●評価対象項目 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 盛土材の材質が適切である。 測定値が不適切であった 盛土の締固めを適切な条件(人力・機械別、巻き出し厚、敷き均し、転圧作業等)で施工されている。 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料により的確に確認できる。 指示を行い改善された。 指示を行った。 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 盛土の締固め管理(密度等)が適切に行われていることが確認できる。 その他 〔理由: その他 「理由: その他 〔理由: ●判断基準 ※評価値が90%以上・・・・・・・a 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ※評価値が80%以上90%以下···a' ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した ※評価値が70%以上80%未満・・・b 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ※評価値が60%以上70%未満···b' ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※評価値が60%未満・・・・・・c

考査項目	工種	a		a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	取壊し工事	施工計画書 廃棄物の処理 請負者の管理	こ定められ 里が適切 ^っ 里記録が	・ 別に実施している。 れた計画により管理されている。 である。 整備されている。 録が適正である。				品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
		その他	〔理由:]				
		その他	〔理由:]				
		その他	〔理由:]				
		※評価値が8※評価値が7※評価値が6	80%以上 70%以上 80%以上	90%以下···a' ② 削除項目 80%未満···b 比率(%) 70%未満···b' ③ 評価値(『価対象項目』のうち、対象としない項目のある場合は,削除後の評価項目数 目のある場合は,削除後の評価項目数)計算の値で評価する。 (%)=該当項目数()/評価。 削除後の評価対象項目数が2項目以了	を母数として計算した 対象評価項目数()			
•	共同溝シールド	a		a'	b	b'	С	d	e
		裏込め注入(シールド設備 セグメントの品	こついて、 訂工(坑内: 品質が、エ	日本により確実に実施されているか確注入量・注入圧力の管理・記録が適外)については、的確に実施されていて場管理資料により的確に確認できる、、当現場条件を的確に反映し製作さ	恒切に行われている。 いる。 ら。			品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
		その他	〔理由:)				
		その他	〔理由:]				
		その他	〔理由:)				
		その他	〔理由:]				
		その他	〔理由:]				
		※評価値が8※評価値が7※評価値が6	80%以上 70%以上 80%以上	90%以下···a' 80%未満···b 70%未満···b' ② 削除項目 比率(%) ③ 評価値(F価対象項目」のうち、対象としない項目のある場合は,削除後の評価項目数 目のある場合は,削除後の評価項目数)計算の値で評価する。 (%) =該当項目数()/評価; 削除後の評価対象項目数が2項目以T	を母数として計算した 対象評価項目数()			

檢 杳 員 考查項目 工種 3. 出来形 下水道工事 ●評価対象項目 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 及び 【共通】 測定値が不適切であった 出来ばえ マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。 ため、検査職員が修補 ため、監督職員が文書で 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量等)が確認できる。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 |施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 土質条件にあったマシーン設備で施工が適切に行われていることが確認できる。 【開削工】 開削管渠及びマンホール周辺の埋戻が適切に行われ、沈下、空隙が生じていない。 埋戻は一層の厚さ30cm以下で十分な締固が確認できる。 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 管渠の接合は泥土、ゴミ等の付着物を清掃し、接合状況が良好であることが確認できる。 【推進工】 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 常に切り羽及び地表面の状況を観測して施工されていることが確認できる。 推進作業(日進量、送・排泥量及び蛇行等)がデータで確認できる。 地盤改良の施工管理状況がデータで確認できる。 ▼ールドエ】セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。 溶接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。 二次コンクリート打設時前に、セグメントの損傷箇所、漏水箇所の補修が適切に行われていることが確認できる。 二次コンクリート打設前に、付着物除去のための十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 常に切り羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 シールド推進作業等がデータで確認できる。 裏込注入状況がデータで確認できる。 地盤改良の施工管理状況がデータで確認できる。 その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: ●判断基準 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ※評価値が90%以上・・・・・・a ※評価値が80%以上90%以下・・・a' ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ※評価値が70%以上80%未満···b ※評価値が60%以上70%未満···b' ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ※評価値が60%未満・・・・・・c ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

考査項目	工種	a	a'	b		b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	管水路工事	材料の品質規定証明: 中心線の通りがよい。 仕様書で示す条件に 管の両端が均等に埋 地盤面、基盤面に不良 管の吊り込み、据付の 管からの漏水がない。 クラックがない。	ている品質管理が実施されている。 書が整理されている。 より締固が実施されている。 め戻されていることが確認できる。 参が生じていないことが確認できる。 際に常に十分な注意を払っていること をめ細やかな施工が窺える。	が確認できる。	1			品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。
		●判断基準 ※評価値が90%以上 ※評価値が80%以上 ※評価値が70%以上 ※評価値が60%以上 ※評価値が60%未満	(290%以下・・・a' (2) 削除項目 (2) 2 削除項目 (3) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	価対象項目」のうち、対象 目のある場合は、削除後の記 計算の値で評価する。 %)=該当項目数(除後の評価対象項目数が	評価項目数を母数)/評価対象評	数として計算した 価項目数() 合は「c」評価とする。			
	電線共同溝工事(管路布設工事)	管路の形状及び外観 管路(上記以外)の品	平坦性が資料により確認できる。 を目視及び打音により的確に実施され 質が、工場管理資料により的確に確認 施しているか確認できる。 ① 当該「評 能しているか確認できる。 ② 削除項目 比率(%) 70%未満・・・b' ③ 評価値(」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	女として計算した 価項目数()	c	d 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	e 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 指示を行った。

検 査 員

考查項目 工種 ●評価対象項目 3. 出来形 仮設工事 品質関係の測定方法又は 仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 及び 出来ばえ 仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 周辺環境(騒音・振動・地盤変動等)に配慮した施工方法で実施している。 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 施工記録等により設計・条件に適合した根入れ深さで施工されていることが確認できる。 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。 その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: ●判断基準 ※評価値が90%以上・・・・・・a 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ※評価値が80%以上90%以下・・・a' ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した ※評価値が70%以上80%未満・・・b 比率(%)計算の値で評価する。 ※評価値が60%以上70%未満···b' ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※評価値が60%未満・・・・・・・c 上記以外の $\langle A \rangle$ 工事 bより優れている やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は (情報ボックス、 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 浚渫工等) [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 又は合併工事 指示を行い改善された。 指示を行った。 ●評価対象項目 その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: その他 〔理由: その他 その他 〔理由: ●判断指標 <A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ex) 浚渫、取り壊し工等 ① 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した ばらつきで判断可能 ※評価値が90%以上・・・・・・a ※評価値が80%以上90%以下···a' 比率(%)計算の値で評価する。 50%以下 80%以下 ② 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ※評価値が70%以上80%未満···b ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※評価値が60%以上70%未満···b' 75%以上~90%未満 h 価 ※評価値が60%未満······c 60%以上~75%未満 h' なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の 60%未満 場合は「c」評価とする。

+ + + 1	T #	a	b	С	d	
考查項目	工種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3.出来形及び	コンクリート構造物工事	コンクリート構造物の表面状態が良い。		※該当5項目程度以上・・・a		
出来ばえ	砂防構造物工事	コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目程度 · · · · · · b		
	海岸工事	天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当3項目程度・・・・・・c		
Ⅲ.出来ばえ	トンネル工事	クラックがない。		該当2項目程度以下···d		
		漏水が無い。				
	-	全体的な美観が良い				
	土工事	仕上げが良い。		※該当4項目程度以上・・・a		
	(盛十・築堤工事等)	通りが良い。		該当3項目程度 · · · · · · b		
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目程度 · · · · · · c		
		構造物へのすりつけなどが良い。		該当1項目程度以下···d		
	<u>-</u>	全体的な美観が良い。				
	切土工事	規定された勾配が確保されている。		※該当5項目程度以上・・・a		
		施工にあたって、法面の浮き石が除去されてい	いるなど、適切に施工されている。	該当4項目程度 · · · · · · · b		
		法面勾配の変化部について、干渉部を設ける	など適切に施工されている。	該当3項目程度 · · · · · · · c		
		滞水などのよる施工面の損傷が発生しないよ	5処理が行われている。	該当2項目程度以下···d		
		関係構造物との取り合いが設計図書を満足す	るよう施工されている。			
		全体的な美観が良い。				
	護岸・根固・水制工事	通りがよい。		※該当4項目程度以上・・・a		
		材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。		該当3項目程度・・・・・・b		
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目程度・・・・・・c		
		既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目程度以下・・・d		
		全体的な美観が良い。				
	鋼橋工事	表面に補修箇所が無い。		※該当4項目程度以上・・・a		
		部材表面に傷、錆が無い。		該当3項目程度•••••b		
		溶接に均一性がある。		該当2項目程度・・・・・・c		
		塗装に均一性がある。		該当1項目程度以下・・・d		
		全体的な美観が良い。				
	地すべり防止工事	地山との取り合いが良い。		※該当3項目程度以上・・・a		
		天端、端部の仕上げが良い。		該当2項目程度・・・・・b		
		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ	り良さが伺える。	該当1項目程度・・・・・・c		
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・・d		
	舗装工事	舗装の平坦性が良い。		※該当5項目程度以上・・・a		
		構造物の通りが良い。		該当4項目程度・・・・・b		
		端部処理が良い。		該当3項目程度・・・・・・c		
		構造物へのすりつけ等が良い。		該当2項目程度以下・・・d		
		雨水処理が良い。				
	N. — — —	全体的な美観が良い。		NAVARIANTA		
	法面工事	通りが良い。		※該当3項目程度以上・・・a		
		植生、吹付等の状態が均一である。		該当2項目程度・・・・・b		
		端部処理が良い。		該当1項目程度・・・・・・c		
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・・d		

	_							(1次
出来	夹 木 頂 日		新	a	b	С	d	
記書本及び	与 且 切 日		1里	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
田本江文	9 出本形及が	甘冰丁市			1 1 52.11		20 - 1 - 0	
田出来がえ		盔爬上尹						
正工等産業等などから不可能部分の出来は2の良さが向える。	出来はえ							
正工等産業等などから不可能部分の出来は2の良さが向える。				端部、天端の仕上げが良い。		該当1項目程度・・・・・・c		
				施工管理記録等などから不可担郊公の出本げき	の白さが伺きる			
コングリート構造物が表面が振り、	TT III de Nº 5			ルエ自生に吹守なこかり下り沈即力り山木はん	の区でか同たる。	欧当気日なし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2・20 1	Ⅲ.出米はえ							
天端友が部かけたりない。 安美のか上がた良い。 安美のか上が良い。 安美のか上が良い。 安美のか上が良い。 安美のか一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のおからない。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細からない。 安美のおり付けがきの組からない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美ののおりたり。 安美ののなななななない。 安美ののなななななななななななななななななななななななななななななななな		コンクリート橋上部コ	匚事			※該当6項目程度以上・・・a		
天端友が部かけたりない。 安美のか上がた良い。 安美のか上が良い。 安美のか上が良い。 安美のか上が良い。 安美のか一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のち一性が良い。 安美のおからない。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細から鉱工がしている。 安美のおり付けがきめ細からない。 安美のおり付けがきの組からない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美のおり付けがない。 安美ののおりたり。 安美ののなななななない。 安美ののなななななななななななななななななななななななななななななななな				コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目程度•••••b		
要薬工事 (工場塗装を除く) (工場を装した) (大きな観が大戦) (大きな観が大戦) (大きな観が大戦) (大きな観が大戦) (大きな観が大戦) (大きな観が大戦) (大きな関が大戦)								
②デックが振い。 ②佐物文本観が良い。 ・								
全体が主義が良い。 一般語の声性が良い。 一般語の声性が良い。 一般語の声性が良い。 一般語の声性が良い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が無い。 一般語の声が悪い。 一般語の声が悪い。 一般語の声が悪い。 一般語の声が悪い。 一般語の声が悪い。 一般語の声を表が良い。 一般語の声を表が良い。 一般語の意と、 一般語の主義の主ない。 一般語の主ない。 一般語の言ない。 一般語						該当2項日程度以下・・・d		
				クラックが無い。				
				全体的な美観が良い。				
(工場塗製を除く)				Z11 87 6 X 1960 X 1 8				
(工場塗製を除く)		30 May		DANE OF DESCRIPTION		Wale Valor of the rest of the		
補除値面所が無い。								
でいたが主義が良い。 該当項目程度以下・・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・ 会話当項目程度、		(工場塗装を除く)		細部まできめ細かな施工がされている。		該当3項目程度・・・・・・b		
でいたが主義が良い。 該当項目程度以下・・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・・ 会話当項目程度以下・ 会話当項目程度、				補修笛所が無い		該当9項目程度 · · · · · · · · c		
全体的文楽観が良い、								
放表の正常状況が良い。						該 目 1 頃 日 柱 及 以 广 * * * · · · · · · · · · · · · · · · ·		
支柱の取り付けが窓園である。 該当2項目程度・・・・・ 該当2項目程度・・・・ 技術の取り付けが窓園である。 技術の取り付けが窓園である。 技術の取り付けが窓園である。 技術の取り付けの選問である。 技術のなど、								
支柱の取り付けが整固である。		植栽工事		樹木の活着状況が良い。		※該当3項目程度以上・・・a		
支柱の取り付けが整固である。				支柱の取り付けがきめ細かく施丁されている。		該当2項目程度 · · · · · · · b		
全体的な美観が良い。 該当項目私に・・・・ 該当項目程度以上・・・ 該当項目程度以上・・・ 該当項目程度以上・・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 該当項目程度以上・・ 该当项目程度以上・ 該当項目程度以上・ 該当項目程度以上・ 該当項目程度以上・ 該当項目程度以上・ 该当项目程度以上・ 该当项目程度以上 该当项目程度以上・ 该当项目程度以上 该当项目程度以上 该当项目程度以上								
通りが良い。								
# 端が見いらい。				 全体的な美観か良い。		該当頃目なし・・・・・・d		
# 端が見いらい。								
端部処理が良い。		防護柵(網)工事		通りが良い。		※該当5項目程度以上・・・a		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						該当4項目程度b		
一								
きめ細やかに施工されている。								
全体的な美観が良い。						該当2項目程度以下•••d		
標識工事				きめ細やかに施工されている。				
標識工事				全体的な美観が良い				
標識の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。		 一种				※該坐4項目租産□ 上		
標職板の支柱に変色がない。		伝 戚上尹						
支柱基礎が入念に埋め戻されている。 該当1項目程度以下・・・ d 全体的な美観が良い。 接着状態が良い。 接過程度以下・・・ d 全体的な美観が良い。 接換が良い。 接過の指数では、					ν' ₀			
全体的な美観が良い。 ※該当4項目程度以上・・・				標識板の支柱に変色がない。		該当2項目程度・・・・・・c		
全体的な美観が良い。 ※該当4項目程度以上・・・				支柱基礎が入念に埋め戻されている。		該当1項目程度以下···d		
全科の塗布が均一である。						E. III AN ILAAN I		
視認性が良い。 該当3項目程度・・・・・ 技者状態が良い。 該当2項目程度・・・・・・ 技者状態が良い。 該当2項目程度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ロエ始ア本				**************************************		
接着状態が良い。	1							
施工前の清掃が入念に実施されている。 該当1項目程度以下・・・ d 全体的な美観が良い。 ※該当4項目程度以上・・・ a 活落築造工事 通9が良い。 ※該当4項目程度以上・・・ a (浚渫、海岸築造工事を含む) 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当3項目程度・・・・ b 諸当項目程度・・・・・ b さめ細やかな施工がなされている。 該当1項目程度・・・・ c きめ細やかな施工がなされている。 該当1項目程度以下・・・ d				視認性が良い。		該当3項目程度・・・・・・b		
施工前の清掃が入念に実施されている。 該当1項目程度以下・・・ d 全体的な美観が良い。 ※該当4項目程度以上・・・ a 活落築造工事 通9が良い。 ※該当4項目程度以上・・・ a (浚渫、海岸築造工事を含む) 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当3項目程度・・・・ b 諸当項目程度・・・・・ b さめ細やかな施工がなされている。 該当1項目程度・・・・ c きめ細やかな施工がなされている。 該当1項目程度以下・・・ d				接着状態が良い。		該当2項目程度・・・・・c		
全体的な美観が良い。 港湾築造工事 (浚渫、海岸築造工事を含む) 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。								
港湾築造工事						政コ1次日往及外 [TTU		
(凌渫、海岸築造工事を含む) 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当3項目程度・・・・・・		all a fallend						
構造物の表面及び端部の仕上げが良い。	1	港湾築造工事		通りが良い。		※該当4項目程度以上・・・a		
構造物の表面及び端部の仕上げが良い。		(浚渫, 海岸築浩丁	事を含む)	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの自	はが伺える。	該当3項目程度 · · · · · · · h		
きめ細やかな施工がなされている。	1	CONTRACTOR AND A						
	1							
全体的な美観が良い。						該当1項目程度以下・・・d		
				全体的な美観が良い。				

-tu -tu -rr -u	_		a	b	c	d	(
考查項目	エ	種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3.出来形及び	建築工事		きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや		※該当6項目程度以上・・・a	7,7 2,1 0	
出来ばえ	X_X_7		関連工事(工種)又は既存部分との調整がなさ		該当4項目程度・・・・・・b		
шикталс			使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優		該当3項目程度・・・・・・c		
Ⅲ.出来ばえ			仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好で		該当2項目程度以下・・・d		
ш.ш.хи.х.		色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。		阪ヨ2気自住及以 ····u			
	材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 保全に配慮した施工がなされている。						
				1			
	機械設備工事		主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的	りょうなわない YE 転換を持さらい	※該当4項目程度以上・・・a		
				がこ形で引きまし、連転採TFI生が良い。			
			きめ細やかな施工がなされている。 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなさ	h 調和が白い	該当3項目程度・・・・・・b 該当2項目程度・・・・・・c		
			合体的な美観が良い。 全体的な美観が良い。	思かなされている。	該当1項目程度以下・・・d		
	電気設備工事				少数业品的自和库内目		
	电风政佣工争		きめ細やかな施工がなされている。	か四位 の町長いわとしている	※該当5項目程度以上・・・a		
			公共物として、安全性の確保、環境及び維持ない。		該当4項目程度・・・・・・b		
			動作状態において、電気的及び機械的な異状が				
			ケーブル等の接続方法及び敷設状況が適切		該当2項目程度以下・・・d		
			操作、保守点検等の容易さを確保するための	記慮がなされている。			
1	644 bt 645 645		全体的な美観が良い。		V-t-V-0-E-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		
1	維持修繕工事		小構造物等にも注意が払われている。		※該当3項目程度以上・・・a		
ĺ	ĺ		きめ細やかな施工がなされている。		該当2項目程度・・・・・・b		
			既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目程度・・・・・・c		
	T 66 11 - 14 - 14		全体的な美観が良い。	en 1004 (10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	該当項目なし・・・・・・d		
	電線共同溝工事		歩道及び車道の舗装(仮復旧舗装含む)の勾	配が適切で、有害な段差が無く	※該当3項目程度以上・・・a		
			平坦性が確保されている。		該当2項目程度・・・・・b		
			プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつ		該当1項目程度・・・・・・c		
			施工管理記録などから、不可視部分の出来は	えの良さが伺える。	該当項目なし・・・・・・d		
			全体的な美観が良い。				
	通信設備工事		主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がな		※該当5項目程度以上・・・a		
	受変電設備工事		公共物として、安全性の確保、環境及び維持な		該当4項目程度・・・・・b		
			動作状態において、電気的及び機械的な異常が		該当3項目程度・・・・・・c		
			当該設備及び関連設備が全体的に協調及び	統制され、総合的な性能向上への	該当2項目程度以下•••d		
			配慮がなされている。				
			操作、保守点検等の容易さを確保するための	配慮がなされている。			
			全体的な美観が良い。				
	二次製品構造物		構造物の通りが良い。		※該当6項目程度以上・・・a		
			材料の連結、かみ合わせが良い。		該当4項目程度•••••b		
			天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当3項目程度・・・・・・c		
			クラックがない。		該当2項目程度以下・・・d		
			漏水がない。				
			土工の仕上げが良い。				
			全体的な美観が良い。				
1	補強土壁工事		壁面材(コンクリート製品)の割れ・欠けがない。		※該当4項目程度以上・・・a		
1			基礎上面の平坦性が良い。		該当3項目程度 · · · · · · b		
			天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当2項目程度・・・・・・c		
			壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通り	ら良い。	該当1項目程度以下・・・d		
ĺ			全体的な美観が良い。				
ĺ	取り壊し工事	-	きめ細やかな施工がされている。		※該当4項目程度以上・・・a		
1	1		既存部分や関連設備との調整がなされている		該当3項目程度 · · · · · · b		
ĺ	İ		取り壊し後の整地等仕上がりの状態が良好で		該当2項目程度・・・・・・c		
1			その他[理由:)	該当1項目程度以下•••d		
1	共同溝シールド工事	F	RCセグメントの割れ・欠けがない。		※該当4項目程度以上・・・a		
1			継ぎ手面の防水が確実になされている。		該当3項目程度・・・・・・b		
1			セグメント間の目違い、段差が少ない。		該当2項目程度 · · · · · · c		
1			ボルトの締め付け状況が良い。		該当1項目程度以下···d		
ĺ	İ		全体的な美観が良い。				
	•						

		(検
種 a	b c	d
優れている	やや優れている 他の評価に該当しない	劣っている
通りが良い。	※該当5項目程度以上・・・a	
漏水が無い。	該当4項目程度・・・・・・b	
クラックがない。	該当3項目程度・・・・・・c	
	成 3 2 項目住及以 1 *** u	
	WARN ASTERSON	
	該当1項目程度以下・・・d	
その他[理由:)	
管の割れ・欠けがない。	※該当4項目程度以上・・・a	
継ぎ手面にパッキンの設置が確実になされている	該当3項目程度・・・・・・b	
	※該坐4項日租庫以上。	
	該当1項目程度以下・・・d	
構造物の表面及び端部の仕上げが良い。	該当2項目程度・・・・・・c	
きめ細やかな施工がなされている。	該当1項目程度以下•••d	
全体的な美観が良い。		
構造物の通りが良い。	※該当6項目程度以上・・・a	
	(69%	
(主体的な実観が良い。		
		Water of Party of I
〔理由:)	※該当4項目程度以上・・・a
		該当3項目程度・・・・・・b
(理由・	ì	該当2項目程度・・・・・・c
CATH.	,	該当1項目程度以下・・・d
(神由・)	
(生四.	J	
CHI.	1	
【埋田:	J	
Com I		
── □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	J	
	継ぎ手面にパッキンの設置が確実になされている 管路間の目違い、設差が少ない。 管路継ぎ手部ボルトの締め付け状況が良い。 全体的な美観が良い。 鋼矢板・親杭の通りが良い。 獨上板にがたつきがない。	マンホールのインバートの仕上げが良い。 大生等は適切に処理されている。

考查項目別運用表(建築工事)

目 次

		~	ージ
別紙—1	①~③考查項目別運用表(主任監督員)	••••	53 ~
別紙一2	①~⑤考查項目別運用表(総括監督員)		66 ~
別紙—3	①~⑩老杏項日別運用表(檢杏員)		71 ~

考查項目別運用表(建築)

考査項目	細別	対象	評価対象項目
1.施工体制	I.施工体制一般		□ ①作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。
			□ ②品質管理体制が、書面に適切に記載されている。
			□ ③安全管理体制が、書面に適切に記載されている。
			□ ④現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。
			□ ⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。
			□ ⑥建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、
			証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。
			□ ⑦元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。
			□ ⑧現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え
			実施している。
			□ ⑨「施エプロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。
			または指示事項に対する改善が速やかに実施された。
			□ ⑩その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:施工体制がf e:施工体制が ⁵		体制が	良好である。c:施工体制が適切である。d:施工体制がやや不適切である。
該当項目が90%以上 ・・・・・・ a			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b		• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が609	%以上80%未満 ••	• c	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が609	%未満 · · · · · · ·	• d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
=v /=:			F. 信

(主任監督員)

考査項目	細別	対象	評価対象項目
1.施工体制	Ⅱ.配置技術者		□ ①現場代理人として、工事全体の把握ができている。
	(現場代理人等)		□ ②現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。
			□ ③契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。
			□ ④工事請負契約書第18条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第18条」という。)に基づく
			設計図書の照査を行っている。
			□ ⑤書類及び資料が適切に整理されている。
			□ ⑥作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。
			□ ⑦工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。
			□ ⑧作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。
			□ ⑨主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。
			□ ⑩施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。
			□ ⑪施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。
			□ ⑫「施エプロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示
			事項に対する改善が速やかに実施された。
			□ ⑬その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
	として優れている。 b としてやや不適切で		技術者として良好である。c:配置技術者として適切である。 e:配置技術者として不適切である。
該当項目が909	%以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b			評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が609	該当項目が60%以上80%未満・・・・c ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、		
該当項目が609	%未満 · · · · · · ·	• d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
評価		評値	<u></u>

※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、

当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。

なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

※2. 作業主任者を選任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

		_		(土性監督員)
考査項目	細別	対象	評価対象項目	
2.施工状況	I.施工管理		□ ①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。	
			□ ②施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出	出されている。
			□ ③施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。	
			□ ④施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。	
			□ ⑤施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。	
			□ ⑥施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。	
			□ ⑦工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時行われている。	
			□ ⑧施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。	
			□ ⑨ーエ程の施工の検査・確認の報告が、適時行われている。	
			□ ⑪現場内での整理整頓が、日常的に行われている。	
			□ ⑪使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)・	の調達の
			計画及び搬入後の管理が適切である。	
			□ ⑫社内検査が計画的に行われている。	
			□ ⑬独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。	
			□ ⑭低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している	00
			□ ⑮建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に	行われている。
			□ ⑯「施エプロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。	または指示
			事項に対する改善が速やかに実施された。	
			□ ⑪その他()
			理由:	
			(減点)該当すればd評価とする。	
			□ 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	
			(減点)該当すればe評価とする。	
			□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
			評価	
a:施工管理がf e:施工管理がf		管理が	良好である。c: 施工管理が適切である。d: 施工管理がやや不適切である。	
該当項目が909	%以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、	•
該当項目が809	%以上90%未満∙∙∙	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が609	%以上80%未満 ••	• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、	
該当項目が60억	%未満 · · · · · · ·	• d	比率(%)計算の値で評価する。	
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()	
評価		評値	面值	

考查項目別運用表(建築)

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2.施工状況	Ⅱ.工程管理		□ ①実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。
			□ ②現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。
			□ ③工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居官署等に
			影響を及ぼすような工程の遅れがない。
			□ ④現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。
			□ ⑤工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。
			□ ⑥請負者の責による夜間や休日の作業がない。
			□ ⑦休日・代休の確保を行っている。
			□ ⑧近隣住民(入居官署等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。
			□ ⑨「施エプロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示
			事項に対する改善が速やかに実施された。
			□ ⑩その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a: 工程管理がf e: 工程管理が		管理が	良好である。c: 工程管理が適切である。d: 工程管理がやや不適切である。
該当項目が909	%以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が609	%以上80%未満 ••	• c	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が609	%未満 · · · · · · ·	• d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
評価		評価	5値

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2.施工状況	Ⅲ.安全対策		①災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。
			□ ②店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。
			□ ③各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に
			是正を指示している。
			□ ④安全教育・安全訓練等を適時・適切に実施し、記録が整備されている。
			□ ⑤安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。
			□ ⑥新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。
			□ ⑦現場の各工程において適時・適切に、安全管理の措置をしている。
			□ ⑧重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。
			□ ⑨山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。
			□ ⑩仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて
			実施されている。
			□ ⑪使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。
			□ ⑫工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。
			□ ③過積載防止に十分に取り組んでいる。
			□ ⑭「施エプロセス」チェックリストのうち、安全管理について指示事項が無い。または指示
			事項に対する改善が速やかに実施された。
			□ ⑤その他()
			理由:
			(減点)該当すればc評価とする。
			□ 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:安全対策がf e:安全対策が		全対策が	良好である。c: 安全対策が適切である。d: 安全対策がやや不適切である。
該当項目が909	%以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満・・・	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が609	%以上80%未満 ••	• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が609	%未満 ••••••	• d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
評価		評値	五値

考查項目別運用表(建築)

考査項目	細別	対象	評価対象項目		
2.施工状況	Ⅳ.対外関係		□ ①工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、		
			トラブルの発生がない。		
			□ ②工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。		
			□ ③引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。		
			□ ④工事の目的及び内容を工事看板等により地域住民や通行者等に分りやすく周知している。		
			□ ⑤近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な		
			対応を行い、以後のトラブルがない。		
			□ ⑥現場のイメージアップに、取り組んでいる。		
			□ ⑦「施エプロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示		
			事項に対する改善が速やかに実施された。		
			□ ⑧その他()		
			理由:		
			(減点)該当すればd評価とする。		
			対外関係に関して監督職員が文書による改善指示を行った。		
			(減点)該当すればe評価とする。		
			□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
			評価		
a:対外関係が e:対外関係が		関係が	良好である。c:対外関係が適切である。d:対外関係がやや不適切である。		
該当項目が909	%以上	• а	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、		
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b		• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。		
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c		• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、		
該当項目が609	%未満 · · · · · · ·	· d	比率(%)計算の値で評価する。		
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()		
評価		評価	<u></u>		

考查項目別運用表(建築)

(主任監督員)

考査項目	細別	対象	評価対象項目		
3.出来形及び	I.出来形		① 承諾図等が、設計図書を満足している。		
出来ばえ			②施工図等が、設計図書を満足している。		
			□ ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。		
			□ ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。		
			□ ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。		
			□ ⑥出来形の管理方法を工夫している。		
			□ ⑦解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。		
			□ ⑧不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。		
			□ ⑨その他()		
			理由:		
			(減点)該当すればd評価とする。		
			□ 出来形に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		
			(減点)該当すればe評価とする。		
			□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。		
			評価		
a:出来形が優々 e:出来形が不過		が良好	である。c:出来形が適切である。d:出来形がやや不適切である。		
該当項目が90%以上 ・・・・・・・ a			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、		
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b		• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。		
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c		• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、		
該当項目が60%未満 ・・・・・・・ d		• d	比率(%)計算の値で評価する。		
	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()				
評価		評句	<u></u>		

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに 管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細別	対象	評価対象項目		
3.出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。		
出来ばえ	建築工事		□ ②品質確認記録の内容が、適切である。		
			□ ③施工の各段階における完了時の品質が、適切である。		
			□ ④躯体工事における施工の品質が、良好である。		
	工事比率		□ ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。		
	1.00		□ ⑥不可視部分の品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。		
!			□ ⑦その他()		
			理由:		
			(減点)該当すればd評価とする。		
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		
			(減点)該当すればe評価とする。		
			□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。		
	評価				
a:品質が優れ [・] e:品質が不適 [・]		好であん	る。c:品質が適切である。d:品質がやや不適切である。		
該当項目が909	%以上	· а	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、		
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b			評価すべき項目でない場合は空白のままとする。		
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c			② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、		
該当項目が60%未満 ・・・・・・・ d		· d	比率(%)計算の値で評価する。		
	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()				
評価		評価	五位		

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び 品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、 それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3.出来形及び	Ⅱ.品質		①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	電気設備工事		□ ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。
			□ ③品質確認記録の内容が、適切である。
	受変電設備工事		□ ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が
	工事比率		設計図書を満足している。
	1.00		□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。
			□ ⑥不可視部分の品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
			□ ⑦その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
			評価
a:品質が優れ ⁻ e:品質が不適 ⁻		と好である	る。c:品質が適切である。d:品質がやや不適切である。
該当項目が909	%以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c			② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が60%未満 d		• d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
評価		評価	<u> </u>

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び 品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、 それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考查項目別運用表(建築)

(主任監督員)

考査項目	細別	対象	評価対象項目			
3.出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。			
出来ばえ	空調衛生設備工事		□ ②品質確認記録の内容が、適切である。			
			□ ③施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。			
	機械設備工事		□ ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が			
	工事比率		設計図書を満足している。			
	1.00		□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。			
			□ ⑥不可視部分の品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。			
			□ ⑦その他()			
			理由:			
			(減点)該当すればd評価とする。			
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			
			(減点)該当すればe評価とする。			
			□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。			
	評価					
a: 品質が優れている。b: 品質が良好である。c: 品質が適切である。d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。						
該当項目が90%以上 ・・・・・・ a			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、			
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b		• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。			
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c		• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、			
該当項目が60%未満 ・・・・・・・ d		· d	比率(%)計算の値で評価する。			
	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()					
評価		評价	五值			

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び 品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、 それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。 また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

|--|

(2工種以上複合している工事)

考查項目別運用表(建築)

					<u> </u>		
考査項目	細別	対象		評価対象項目	_		
3.出来形及び	Ⅱ.品質			①分別、再資源化を適切に実施している。			
出来ばえ	解体工事			②施工計画書に定められた計画により管理されている。			
				③廃棄物の処理が適切である。			
				④請負者の管理記録が整備されている。			
				⑤不可視部分の写真記録が適正である。			
				⑥解体施工等において品質確保のための工夫をしている。			
				⑦その他()		
				理由:			
				(減点)該当すればd評価とする。			
				品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			
				(減点)該当すればe評価とする。			
				工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。			
	評価						
a:品質が優れ ⁷ e:品質が不適り		好である	ნ. c:լ	品質が適切である。d: 品質がやや不適切である。			
該当項目が909	%以上	·a	① 「対	対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、			
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b			評	価すべき項目でない場合は空白のままとする。			
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c		• с	2 削	除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、			
該当項目が609	%未満 ••••••	· d	比	2率(%)計算の値で評価する。			
			③ 評	価値(%)=評価数()/対象評価項目数()			
評価		評価	値				

^{※1.} 解体施工等の品質の水準を評価すること。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
5.創意工夫	■準備・後片付け		測量・位置出しにおける工夫
	関係		現地調査方法の工夫
			その他()
			理由:
			詳細評価内容:
	■施工関係		施工に伴う器具・工具・装置類の工夫
			工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み
			土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫
			建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法の工夫
			電気設備工事等の配線、配管等の工夫
			空調衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫
			照明・視界確保等の工夫
			仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫
			運搬車両・施工機械等の工夫
			型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫
			施工管理及び品質向上等の工夫
			プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫
			仮設施工等の工夫
			既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫
			保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫
			作業の安全性向上のための施工方法等の工夫
			その他()
			理由:
			詳細評価内容:
	■品質関係		集計ソフト等の活用と工夫
			躯体工事の品質管理の工夫
			建築材料・機材の検査・試験に関する工夫
			施工の検査・試験に関する工夫
			品質記録方法の工夫
			その他(理由:
			詳細評価内容:
			ロナがWaT W f 3 位 .

考査項目	細別	対象	評価対象項目
5.創意工夫	■安全衛生関係		安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)
			安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫
			現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、
			酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫
			周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫
			改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫
			作業時における作業環境改善等の工夫
			ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫
			その他()
			理由:
			詳細評価内容:
	■施工管理関係		出来形の管理等に関する工夫
			施工計画書または写真記録等に関する工夫
			出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫
			CAD、施工管理ソフト等の活用
			CALSを活用した施工管理の工夫
			その他()
			理由:
			詳細評価内容:
	■その他		<新技術活用>※新技術に関する下記3項目での加点は最大4点とする。
			NETIS登録技術のうち、試行技術を活用した。(2点)
			活用した試行技術が少実績優良技術もしくは、当該工事において発注者による活用効果調査
			結果の総合評価点が120点以上の場合。(2点)
			NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち、『有用とされる技術』を活用するか、『有用とされる
			技術』以外の技術を活用した結果、当該工事において発注者による活用効果調査の総合評価点
			が120点以上の場合。(4点)
			<その他>
			その他()
			理由:
(最大 7点)			詳細評価内容:
評点計= 点			

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。 なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。
- ※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。
- ※5. レ点を付した評価対象項目については、必要に応じて評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目	細別	評価対象項目
2.施工状況	Ⅱ.工程管理	①現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。
		②隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。
		③近隣住民(入居官署等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に
		工事を完成させた。
		④配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。
		□ ⑤その他()
		理由:
		詳細評価内容:
		評価選択:abcde
		※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
	Ⅲ.安全対策	①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。
		②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。
		③安全衛生管理活動が、適切に実施されている。
		□ ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。
		□ ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。
		□ ⑥その他()
		理由:
		詳細評価内容:
		a:安全対策が優れている。b:安全対策が良好である。c:安全対策が適切である。 d:安全対策がやや不適切である。 e:安全対策が不適切である。
		評価選択:abcde
		※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
6.社会性等	Ⅰ.地域への	①災害時等に地域への救援活動等に協力した。
	貢献等	②周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。
		③現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。
		④ 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。
		⑤地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。
		□ ⑥その他()
		理由:
		詳細評価内容:
		a:地域への貢献が優れている。a':地域への貢献がやや優れている。b:地域への貢献が良好である。 b':地域への貢献がやや良好である。c:他の評価に該当しない。
		評価選択:aa'bb'c
		部刊 ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。

- ※1. 総括監督員は、主任監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。
- ※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。
- ※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目については、必要に応じて評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目	細別		評価対象項目	(松阳血目具)
4.工事特性	■建物規模		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
(施工条件等	への対応		延べ面積10,000㎡以上の建物	
への対応)			地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物	
			大空間のホール等を有する建物	
			その他(理由:)
	評点	詳細評	価内容:	
	点			
	■建物固有の		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
	機能の難しさ		対象建物の耐震レベル	
	への対応		建物機能の特殊性	
			その他(理由:)
			[評価技術事例]	
			・研究施設、美術館等、特殊機能・設備のある建物	
	評点			
	点			
	■建物固有の施工		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする	
	技術の難しさ		建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提	案は除く】
	への対応		設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性	
			制約条件等があり、施工難度が特に高い場合	
			その他(理由:)
			[評価技術事例]	
			・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必	要な工事
			・特殊な工法及び材料等を採用した工事	
			・特殊な設備システムを採用した工事	
			・免震装置を設ける工事	
			・大規模な山留め工法が必要な工事	
			・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事	
			・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を	
			必要とする改修工事	
	評点	詳細評	価内容:	
	点			

考査項目	細別		評価対象項目	
4.工事特性	■厳しい自然・		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
(施工条件等	地盤条件へ		湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)	
への対応)	の対応		軟弱地盤、支持地盤の影響	
			雨・雪・風・気温等の影響	
			その他(理由:)
			[評価技術事例]	
			・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事	
			・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事	
			・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理	
			や施工スペースの制限を受けた工事	
	評点	詳細評	価内容:	
	点			
	■厳しい周辺環境		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
	社会条件への		地中埋設物等の作業障害	
	対応		工事の影響に配慮すべき建物等の近接物	
			周辺住民等に対する騒音・振動の配慮	
			周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮	
			その他(理由:)
			[評価技術事例]	
			・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事	
			・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事	
			・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事	
			・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められてる工事	
			・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整をを行	行った工事
	評点	詳細評	価内容:	
	点			

考査項目	細別	評価対象項目
4.工事特性	■施工現場での	※下記の対応事項に1つにレ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。
(施工条件等	対応	【長期工事における安全確保への対応】
への対応)		□ 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く)
		【災害等での臨機の措置】
		世震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事
		【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】
		□ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事
		□ 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事
		★日・夜間作業が工程の過半を超える工事
		─ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事
		□ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事
		□ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事
		── 施エヤート・が狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事
		□ 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事
		□ その他(理由:)
(最大20点)		
評点計	評点	詳細評価内容:
点	点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

なお、1項目に複数の内容がある場合又は対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。

- ※2. 主任監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、主任監督員の意見も参考に評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目については、必要に応じて評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表					
8.法令遵守等	点数	措置内容				
	•	該当無し				
	○ -20点	1.指名停止3ヶ月以上				
	○ -15点	2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満				
•	○ -13点	3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満				
	○ -10点	4.指名停止2週間以上1ヶ月未満				
	○ -8点	5.文書注意				
	○ -5点	6.口頭注意				
	0 15	7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の				
	〇 -3点	処分がなかった場合(不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)				
•		8.総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合				
ŀ	①本考査項目(8.法令遵守	等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の				
	措置があった」場合に適用する。					
	②「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。					
	③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、					
	③ 工事 関係 自 J C は、 ② を 履 行 する 工事 現場 に 似 事 する 現場 1 、					
	④口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(主任又は総括監督員からの					
	文書注意、口頭注意等)は、主任又は総括監督員の評価対象項目である安全対策において減点をする。					
	⑤総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等は、上表8により工事					
	減点する。減点数は入札説明書等によるものとし、上表8の点数欄に記入する。					
	評価選択:					
	履行:総合評価時の提案どおりに実施された。					
	不履行:総合評価時の提案の不履行があった。					
	対象外:総合評価時の提案の対象外。 【上記で評価する場合の適応事例】					
		資料等が虚為であった事実が判明した。 第二者譲渡又は承継を行った				
	・2.承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。・3.労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。・4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明					
	・5.当該工事関係者が贈収	賄等により逮捕または公訴された。				
	・6.建設業法に違反する事実が判明した。例)一括下請負、技術者の専任違反等					
	・7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。					
	る労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。					
		第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の				
	初を滅じている。あるいはそれに類する行為がある。					
	・11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。					
	・12.受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、					
	暴力団関係者がいることが判明した。					
	・13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、					
	軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・14.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与える					
	公衆災害を起こした。					
	・15.引渡し後に事故等が発生し、請負者の責による重大な瑕疵が判明した。					
	・16.低入札価格調査で虚偽の報告があった。					
	・17.請負者の責により工期内に工事を完成出来なかった。					
	・18.その他 理由:					

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2.施工状況	I.施工管理		□ ①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。
			□ ②施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。
			□ ③施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認で
			క ిం.
			□ ④施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。
			□ ⑤工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。
			□ ⑥使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。
			□ ⑦一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。
			□ ⑧建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われ
			ていることが確認できる。
			□ ⑨社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に
			行っていることが確認できる。
			□ ⑩独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。
			□ ⑪工事の関係書類及び資料整理がよい。
			□ ⑫その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			(減点)該当すればe評価とする。
			─ 施工管理に関して、検査職員が文書による改善指示を行った。
			評価
a:施工管理がf e:施工管理がf		管理が	良好である。c:施工管理が適切である。d:施工管理がやや不適切である。
該当項目が909	%以上	• а	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が609	%以上80%未満 ••	• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が609	%未満 · · · · · · ·	· d	比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
評価		評値	<u></u>

考査項目	細別	対象	
3.出来形及び	I.出来形	, , ,	①承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ			②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
			③施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施している
			ことが確認できる。
			□ ④出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。
			□ ⑤出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。
			□ ⑥現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。
			□ ⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。
			□ ⑧不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。
			□ ⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしている
			ことが確認できる。
			□ ⑩その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 出来形が不適切であった為、検査職員が工事請負契約書第31条に基づく修補指示を行った。
			評価
			が優れている。 b:出来形が特に良好である。 b':出来形が良好である。 P不適切である。 e:出来形が不適切である。
該当項目が909	%以上····· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• a'	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が709	%以上80%未満・・・	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'		• b'	比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が509	%以上60%未満···	• c	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が509	%未満 ・・・・ ・ d		
評価		評値	fi 值

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3.出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが
出来ばえ	建築工事		確認できる。
			□ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
			□ ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事比率		□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。
	1.00		□ ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
'		Ī	□ ⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計
			図書を満足していることが確認できる。
			□ ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが
			確認できる。
			□ ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが
			確認できる。
			□ ⑨その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により
			確認でき、良好であることが確認できる。
			□ ⑩不可視部分の品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
			□ ⑩その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 品質が不適切であったため、検査職員が工事請負契約書第31条に基づく修補指示を行った。
			評価
			れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 適切である。 e:品質が不適切である。
該当項目が909	%以上····· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満・・・	• a'	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が70%以上80%未満・・・・ b ② 背			② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'			比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が509	%以上60%未満・・・	• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が509	%未満・・・・・ d		
評価		評値	西值

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

++	/m D.1	11.77	(快旦只/
考査項目	細別	対象	
3.出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ	電気設備工事		□ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
			□ ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	受変電設備工事		□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。
	工事比率		□ ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることがことが確認できる。
	1.00		□ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
			□ ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、
			設計図書を満足していることが確認できる。
			□ ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。
			□ ⑨不可視部分の品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
			□ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。
			□ ⑩その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 品質が不適切であったため、検査職員が工事請負契約書第31条に基づく修補指示を行った。
			評価
			れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 適切である。 e:品質が不適切である。
該当項目が909	%以上 ···· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• a'	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が709	%以上80%未満•••	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'			比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が50%以上60%未満・・・・ c			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が509	%未満・・・・・ d		
評価		評価	

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象	·····································
3.出来形及び	Ⅱ.品質	7120	①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ	空調衛生設備工事		②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
			□ ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	機械設備工事		□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。
	工事比率		□ ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
	1.00		□ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
			□ ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、
			設計図書を満足していることが確認できる。
			■ ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
			□ ⑨不可視部分の品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
			□ ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
			□ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。
			□ ⑫その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 品質が不適切であったため、検査職員が工事請負契約書第31条に基づく修補指示を行った。
			評価
			ıている。 b∶品質が特に良好である。 b'∶品質が良好である。 切である。 e∶品質が不適切である。
該当項目が909	%以上 ···· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• a'	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が709	%以上80%未満•••	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
該当項目が609	%以上70%未満···	• b'	比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が509	%以上60%未満・・・	• c	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が509	%未満・・・・・ d		
評価		評句	<u></u>

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

品質の評価計	評価値	
-		

(2工種以上複合している工事)

考查項目別運用表(建築)

(検査員)

				(快且貝/
考査項目	細別	対象	評価対象項目	
3.出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①分別、再資源化を適切に実施していることが確認できる。	
出来ばえ	解体工事		□ ②施工計画書に定められた計画により管理されていることが確認できる。	
			□ ③廃棄物の処理が適切であることが確認できる。	
			□ ④請負者の管理記録が整備されていることが確認できる。	
			□ ⑤不可視部分の写真記録が適正であることが確認できる。	
			□ ⑥解体施工等において品質確保のための工夫をしていることが確認できる。	
			□ ⑦その他()	
			理由:	
			(減点)該当すればd評価とする。	
			□ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。	
			(減点)該当すればe評価とする。	
			□ 品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が	が行った。
			評価	
			れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 通切である。 e:品質が不適切である。	
該当項目が909	%以上····· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、	
該当項目が809	%以上90%未満•••	• a'	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が709	%以上80%未満•••	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、	
該当項目が609	%以上70%未満•••	• b'	比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が50%以上60%未満・・・・ c		• c	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()	
該当項目が509	%未満・・・・・ d			
評価		評値	<u></u>	

※1. 解体施工等の品質の水準を評価すること。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3.出来形及び	Ⅲ.出来ばえ		□ ①きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。
出来ばえ	建築工事		□ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
			□ ③使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。
			□ ④仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。
	工事比率		□ ⑤色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。
	1.00		□ ⑥材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。
			□ ⑦保全に配慮した施工がなされている。
			□ ⑧その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来ばえが劣っている。
			評価
	成度が優れている。 成度が劣っている。	b:全体的	りな完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。
該当項目が909	%以上····· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が809	%未満 ・・・・ c		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
			比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
			④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
評価		評価	値

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3.出来形及び	Ⅲ.出来ばえ		□ ①きめ細やかな施工がなされている。
出来ばえ	電気設備工事		②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
			□ ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
	受変電設備工事		□ ④環境負荷低減への対策が優れている。
	工事比率		□ ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
	1.00		□ ⑥その他(
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来ばえが劣っている。
			評価
	成度が優れている。 成度が劣っている。	b:全体	的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。
該当項目が909	%以上····· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が809	%未満•••• c		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
			比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
			④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
評価		評個	5位

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象		評価対象項目	
3.出来形及び	Ⅲ.出来ばえ			①きめ細やかな施工がなされている。	
出来ばえ	空調衛生設備工事			②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。	
				③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。	
	機械設備工事			④環境負荷低減への対策が優れている。	
	工事比率			⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	
	1.00			⑥その他()	
1				理由:	
				(減点)該当すればd評価とする。	
				出来ばえが劣っている。	
				評価	
	成度が優れている。 成度が劣っている。	b:全体	的な完成	成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。	
該当項目が909	%以上····· a		① 「 ☆	対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、	
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評	平価すべき項目でない場合は空白のままとする。	
該当項目が809	%未満•••• c		2 削	除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、	
			比	と率(%)計算の値で評価する。	
			③ 評	価値(%)=評価数()/対象評価項目数()	
			④ 評	価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。	
評価		評個	値		

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・空調衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工 種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で 評価するものとし工事比率は1.0とする。

出来ばえの評価計	評価値	
	H 1 11-4 11-4	

(2工種以上複合している工事)

考查項目別運用表(建築)

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3.出来形及び	Ⅲ.出来ばえ		□ ①きめ細かな施工がなされている。
出来ばえ	解体工事		□ ②既存部分や関連設備との調整がなされている。
			□ ③解体後の整地等の仕上がり状態が良好である。
			□ ④敷地の雨水排水等に配慮した施工がなされている。
			□ ⑤その他()
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来ばえが劣っている。
			評価
	成度が優れている。 成度が劣っている。	b:全体	的な完成度が良好である。c:全体的な完成度が適切である。
該当項目が90%以上・・・・・ a			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、
該当項目が809	%以上90%未満•••	• b	評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が809	%未満 ・・・・ c		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、
			比率(%)計算の値で評価する。
			③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
			④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
評価		評値	面值

^{※1.} 全体的な仕上がり状態を評価する。

目 次

		•	ページ
別紙─1	①~⑤考查項目別運用表(主任監督員)		82 ~
別紙一2	①~④考查項目別運用表(総括監督員)		87 ~
別紙—3	①~④考查項目別運用表(検查員)		91 ~

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。評価の対象としない項目には「×」印を記入する。 (主任監督員) 考查項目 細別 a 1. 施工体制 I.施工体制一般 他の評価に該当しない 適切である ほぼ適切である やや不適切である 不適切である ●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない。 施工体制一般に関して、監督職員が 施工体制一般に関して、監督職員 施工計画書を、工事着手前に提出している。 文書による改善指示を行った。 からの文書による指示に従わなかっ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 た。 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 元請が下請の作業成果を検査している。 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 その他 ●判断基準 該当項目が90%程度以上・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ b 該当項目が80%程度未満・・・・・・ c 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数(④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 Ⅱ.配置技術者 (現場代理人等) 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である ●「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 配置技術者に関して、監督職員が 配置技術者に関して、監督職員か 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項がない。 改善指示を行った。 らの文書による改善指示に従わなか 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 った。 【現場代理人を評価する項目】 現場代理人が、工事全体を把握している。 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 監督職員への報告を的確に行っている。 【監理(主任)技術者を評価する項目】 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 契約書、設計図書、適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 その他 〔理由: ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ b 該当項目が80%未満・・・・ c 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

dv d	Am Ed					(主任監督員)
考查項目 2.施工状況	組 別 I.施工管理	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	<u>e</u> 不適切である
		施工計画書が、設計図書及び現場名現場条件の変化に対して、適切に対工事材料の品質に影響がないよう保日常の出来形管理を、設計図書及び規場内の整理整頓を日常的に行って指定材料の品質証明書及び写真等工事打合せ簿を、不足無く整理して、建設副産物の再利用等への取り組み	応している。 管している。 %加工計画書に基づき適時及び的確に行っ でいる。 でいる。 を整理している。 いる。	∖ ∨వం	施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	施工管理に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目が90%程度以上・・・・・ 該当項目が80%以上90%未満・・・・ 該当項目が80%未満・・・・ ① 当該「評価対象項目」のうち、対 ② 削除項目のある場合は、削除後の 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数(④ なお、削除後の評価対象項目数	象としない項目は削除する。 評価項目数を母数として計算した			
	Ⅱ.工程管理	a	b	С	d	e
		工程に与える要因を的確に把握し、実施工程表の作成及びフォローアッ現場条件の変化への対応が迅速では時間制限や片側交互通行等の各種に工事の進捗を早めるための取り組み。適切な工程管理を行い、工程の遅れ休日の確保を行っている。計画工程以外の時間外作業がほとんその他 ●判断基準 該当項目が80%以上・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ c ① 当該「評価対象項目」のうち、対 ② 削除項目のある場合は、削除後の比率(%)計算の値で評価する。 3 評価値(%)=該当項目数(制約への対応が適切であり、大きな工程の変を行っている。」 が無い。 ど無い。 b 象としない項目は削除する。 評価項目数を母数として計算した		やや不適切である 工程管理に関して、監督職員が文書 による改善指示を行った。	不適切である 工程管理に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。

(主任監督員)

						(土江監督貝/
考査項目	細 別	a	b	c	d	e
İT	Ⅲ.安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち 災害防止協議会を1回/月以上実施 安全教育及び安全訓練等を半日/月 新規入場者教育の内容に、当該工事 工事期間を通じて、労働災害及び公 過積載防止に取り組んでいる。 仮設工の点検及び管理を、チェック!	、安全対策について指示事項が無い。 している。 引以上実施している。 事の現場特性を反映している。 衆災害が発生しなかった。 リスト等を用いて実施している。 基準及び関係者間の協議に基づき行ってい		安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	安全対策に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
			象としない項目は削除する。 D評価項目数を母数として計算した)/評価対象評価項目数() が2項目以下の場合は「c」評価とする。			
I	W.対外関係	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●「評価対象項目」 「施工プロセス」のチェックリストのうち 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生 第三者からの苦情が無い。もしくは、 関連工事との調整を行い、円滑な進 工事の目的及び内容を、工事看板な その他 「理由:	、対外関係について指示事項がない。 「ルの発生がない。 Eが無い。 苦情に対して適切な対応を行っている。		対外関係に関して、監督職員が文書 による改善指示を行った。	対外関係に関して、監督職員からの 文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 該当項目90%以上・・・・・・ a 該当項目80%以上90%未満・・・ b 該当項目80%未満・・・ c ① 当該「評価対象項目」のうち、対: ② 削除項目のある場合は、削除後の 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数(④ なお、削除後の評価対象項目数	り評価項目数を母数として計算した			

(主任監督員)

考査項目	a	b	с	d	е
3.出来形及び 出来ばえ I.出来形	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 規格値の概ね50%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切で あったため、監督職員が文書で改善指示 を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求 を行った。
	※ ばらつき判断は別紙一4参照				
	③出来形管理とは、「土木工事」 所定の出来形を確保する管 別に定める出来形管理項目 ④出来形管理項目を設定してい ⑤工事内容等によりばらつきで	れた工事目的物の形状及び寸法をいう。 施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規理 性体系である。なお、当該管理基準によりがた や管理基準等に基づき評価を行うものとする。			
考査項目	a	b	с	d	e
Ⅱ.品質	品質の測定が、必要な測定項目について 所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 概ね50%以内である。	品質の測定が、必要な測定項目について 所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが 概ね80%以内である。	品質の測定が、必要な測定項目について 所定の測定基準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、a、bに該当 しない。	品質関係の測定方法又は測定値が 不適切であったため、監督職員が文書 で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求 を行った。
	※ ばらつきの判断は別紙ー4参照				
	品質確保のための管理体系 品質管理項目や管理基準等 ④品質管理項目を設定している ⑤ばらつき評価が適当でない場	た工事目的物の規格である。 工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格 である。なお、当該管理基準によりがたい場合 ほに基づき評価を行うものとする。			
	<ばらつき評価が適切ではない場合>	1.	_		
	a *In-s+ z	b	C C (サンキング)という		
	適切である ●〔評価対象項目〕 常に緊急的な作業に対応できる体制を整; 緊急的な作業に対して迅速に対応している 緊急的な作業に対し、現地状況を 施工条件、気象条件を考慮して施工してい 材料の品質・形状が証明書等で確認できる 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよ 施工時期や施工場所について地域や環境 その他〔理由: ●判断基準 該当項目が6項目以上・・・ a 該当項目が4項目・・・ b 該当項目が3項目・・・・ c	う。 動案し、施工方法や構造について提案するなど る。 う 5 5 大している。			
	1		85	<u>l</u>	1

老木百日	√m □(I		т	+ 1	1百	
考査項目	細別	T.U.—3	I		項 項	
5. 創意工夫	I . 創意工夫	【施工】		【その他】		
		施工に伴う器具、工具、装置等	に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。	その他	〔理由:	
		コンクリート二次製品などの代表	棒材の利用に関する工夫。		【理用:	J
			i装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。			
				7 00 114		
			「吊り方式などの施工方法に関する工夫。	その他	〔理由:)
		設備工事における加工や組立	等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。		CAH.	,
		給排水工事や衛生設備工事等	における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関	する工夫。		
		照明などの視界の確保に関す		その他		
				-C071E	〔理由:]
		仮排水、仮道路、迂回路等の記				
		運搬車両、施工機械等に関す	る工夫。			
		支保工、型枠工、足場工、仮材	橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	その他	Cem +	, and the second second second second second second second second second second second second second second se
		盛土の締固度、杭の施工高さ			〔理由:)
		施工計画書の作成、写真の管				
				77 m 61.		
		出来形又は品質の計測、集計		その他	〔理由:)
		施工管理ソフト、土量管理シス	テム等の活用に関する工夫。		CEM.	,
		ICT(情報通信技術)を活用した	た情報化施工を取り入れた工事。			
		※本項目は2点の加点とす		マカル		
				その他	〔理由:	
		特殊な工法や材料を用いた工				
		優れた技術力又は能力として記	平価する技術を用いた工事。			
		【新技術活用】		その他	Cem I	
			術を活用し、活用効果調査表を提出している。	C -> L	〔理由:]
			=			
		※本項目は2点の加点とす				
		NETIS登録技術のうち活用し	た試行技術が「少実績優良技術」である場合又は発注者による	活用効果調査結果		
		の総合評価点が120点以上で	あった場合。			
		※本項目は2点の加点とす				
			〜。 少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」を活用し、活用効果	調木士ナ.担山		
			が夫旗変良技術」を除い、有用とされる技術」を活用し、活用効果	に調宜衣を促山		
		している。				
		※本項目は4点の加点とす	-ేవ.			
		NETIS登録技術のうち試行技	術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用した結果、発	主者による活用効		
		果調査結果の総合評価点が1		L L (-0, Ø1L/10/90		
		※本項目は4点の加点とす				
		※新技術の活用に関する上記	4項目での加点は最大4点とする。			
		【品質】				
		土工、設備、電気の品質向上は	▼ 関 する 工 丰			
			The state of the s			
		コンクリートの材料、打設、養生				
			、二次製品等の使用材料に関する工夫。			
		配筋、溶接作業等に関する工	夫。			
		【安全衛生】				
			である指針に基づく安全衛生教育を実施している。			
		※本項目は2点の加点とす		.t. lim		
			等に関する工夫。(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁	止柵、		
		手摺り、足場等)				
		安全教育、技術向上講習会、	を全パトロールに関する工夫			
			空間及び設備等に関する工夫。			
			里及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。			
		一般車両突入時の被害低減力	「策又は一般交通の安全確保に関する工夫。			
		厳しい作業環境の改善に関す	る工夫。			
		環境保全に関する工夫。				
	記述評価		【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載	Ì		
	(レマークを付		14476	`		
		- L				
	した評価内容	評 点 :				
	を詳細記述					

- ※1 特に評価すべき創意工夫を加点評価する。
- ※2 評価は各項目で1つレ点が付されれば1、2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
 ※4 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。 (総括監督員) 考查項目 細 別 С d Ⅱ.工程管理 優れている やや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている 2.施工状況 ●評価対象項目 ■隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 工事施工場所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 その他 〔理由: ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。 Ⅲ.安全対策 b С 優れている やや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている ●評価対象項目 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 その他 〔理由: ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。

(総括監督員)

# 1	考査項目	細別	対 応 事 項	【事 例】 具体的な施工条件等への対応事例
### ### ### ### #### ################	4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事	切土、盛土の土工量:5万m3以上、護岸・築堤の平均高さ5m以上、凌渫工:10万m3以上、トンネル(NATM):内空断面積:100m2以上 推進工(羽口、泥水加圧): φ2000mm以上、極管:30m以上、極門又は水門の扉体面積:50m2以上、砂防ダムの堤高さ:15m以上 海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅50m以上又は延長80m以上、
15. 前回業項条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事			※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば4点の加点とする。	・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。
※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。 ***********************************			5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事	・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか、各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について)
11. 特殊大地盤条件への対応が必要な工事 12. 信頼・等風・炎温・液理・変しき、発生の影響が大きな工事 13. 急峻な地形及び土石流危険美流内での工事 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 15. その他 「理由: 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 15. その他 15. その他 16. 12の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 17. その他 18. 世界では、大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大			※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。	・DID地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9.について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10.について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。
※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 *急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形底下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険域に指定された区域内における工事。 ・土石流危険域に指定された区域内における工事。 ・土石流危険域に指定された区域内における正常の主め、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (14.について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) ・その他、発書学における監験の非面のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「2.2 方とだし、文書注意に至らない事故は除く。 「2.4 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「2.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「2.6 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「2.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「3.6 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 「4.5 での他、災害等におけるに対する。 「4.5 では、近になり、なりには、なりには、なりには、なりには、なりには、なりには、なりには、な			11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 13.急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 14.動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事	・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎抗基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いとから、施工機械の稼働率やも数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12、について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。
				・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (14.について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。
			V-21 11	
			※工能の対応事項に1つ以上に思か何けは6点の加品とする。	
評 価 評 点 <u></u>		評価	評 点 :	

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
※2 評価にあたっては、主任監督員等の意見も参考に評価する。

(総括監督員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I.地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		定期的に広報紙の配布や現場り 道路清掃などを積極的に実施し 地域が主催するイベントへ積極的	と周辺地域の景観に合わせるなど、程 見学会を実施して、積極的に地域との	ンを図った。		
		●判断基準 上記該当項目を総合的に判断し	- て、a、a'、b、b'、c評価を行う。			
				89		

(総括監督員)

7.法令遵守等 措置内容 点数 1.指名停止3ヶ月以上 -20点 2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 -15点 3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 -13点 4.指名停止2週間以上1ヶ月未満 -10点 ・ ままけき -2点	考査項目	ž.	法令遵守等の該当項目一覧表	
3.	VIII // II	# 置 内 容 1.指名停止3ヶ月以上 2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 4.指名停止2週間以上1ヶ月未満 5.文書注意 6.口頭注意 7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の 不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合 8.その他 [理由:] 9. 項目該当なし	点 数 -20点 -15点 -15点 -13点 -10点 - 8点 - 5点 - 3点 - i点 i減点無し	

法令遵守等 点 評定点合計

- ③「工事関係者」とは、当該現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行をするために従事する者に限定する。
- ④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。

【上記で評価する場合の適応事例】

- ・ 1.入札前に提出した調査資料等などにおいて、虚為の事実が判明した。
- ・ 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。
- ・ 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。
- ・ 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。
- ・ 6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。
- ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。
- ・ 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- ・ 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。
- ・10.下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
- ・11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。
- ・12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。
- ・13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、 土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- ・14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。

考查項目別運用表(小規模工事) [記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。評価の対象としない項目には「×」印を記入する。 (検 査 員) 細 別 2.施工状況 I.施工管理 優れている やや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている ●「評価対象項目」 契約書18条第1項第1号~5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 施工管理について、監督職員が 施工管理について、監督職員か 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されていると共に、設計図書の内容及び現場条件を 文書による改善指示を行った。 らの文書による改善指示に従わ 反映したものとなっていることが確認できる。 なかった。 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 施工体制台帳及び施行体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 その他 〔理由: ●判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・・b 該当項目が80%未満・・・・・・c ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

(検 査 員)

考査項目	a	a'	b	b'	С	d	e e
3.出来形及び							
出来ばえ	出来形の測定が、必要な測定	出来形の測定が、必要な測定	出来形の測定が、必要な測定	出来形の測定が、必要な測定	出来形の測定が、必要な	出来形の測定方法又は	出来形の測定方法又は
I.出来形	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準		測定値が不適切であっ	測定値が不適切であっ
- 1,471777	に基づき行われており、測定値	に基づき行われており、測定値	に基づき行われており、測定値	に基づき行われており、測定値		たため、監督職員が文書	たため、検査職員が修補
	が規格値を満足し、そのばらつ	が規格値を満足し、そのばらつ	が規格値を満足し、そのばらつ	が規格値を満足し、そのばられ		で指示を行い改善され	指示を行った。
	きが規格値の概ね50%以内で、	きが規格値の概ね50%以内で、	きが規格値の概ね80%以内で、	きが規格値の概ね80%以内で		た。	111/12/11/2/20
	下記の「評定対象項目」の4項	下記の「評定対象項目」の3項	下記の「評定対象項目」の3項	下記の「評定対象項目」の2項		/Co	
					ない。		
	目以上が該当する。	目以上が該当する。	目以上が該当する。	目以上が該当する。			
	●[評価対象項目]		e la concerna a sombre				
	出来形管理が容易に把握できるよう、		し天していることが確認できる。				
	社内の管理基準に基づき管理してい						
	不可視部分の出来形が写真で確認で						
		定結果一覧表で一致していることが確					
		な方法で行われていることが確認でき	వే.				
	写真管理基準の管理項目を満足して						
	出来形管理基準が定められていない	工種について、監督職員と協議の上	で管理していることが確認できる。				
	その他 〔理由:		1				
	(连用:		J				
	※ばらつきの判断は別紙-4参照。						
	 出来形は、工事全般を通じて評算 	さするものとする。					
	② 出来形とは、設計図書に示された						
		管理基準 の測定項目、測定基準及	び担格値に基づき				
	所定の出来形を確保する管理体		5 % 間				
	④ 出来形管理項目を設定していない						
	⑤ 工事内容等によりばらつきで評価		計値を測定した中本形士法				
		i くさない 多百な、 処役値・差年値・ 設 値等との関係性をもってばらつき評価					
	こり左り八万なこ、例足胆と叶春	世寺との対所はともつてはりっさ計画	CILL COLV.				
						1	

(検査員

考查項目 а С Ь 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 及び [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ため、監督職員が文書で ため、検査職員が修補 指示を行い改善された。 指示を行った。 Ⅱ. 品質 ●評価対象項目 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 材料の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫していることが確認できる。 施工条件や気象条件を考慮して施工したことが確認できる。 緊急的な作業に対応できる体制を整えていたことが確認できる。 施工時期や施工場所について地域や環境への配慮をしたことが確認できる。 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。 床掘箇所の湧水及び滯水等は排除して施工していることが確認できる。 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 掘削箇所において掘りすぎがなく施工していることが確認できる。 コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 鋼材の品質が証明書類で確認できる。 二次製品の品質照合の書類(現物照合)が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。 対象物に有害なクラック、損傷が無い。 水平度、鉛直度、勾配等が設計図書を満足していることが確認できる。 その他 〔理由: 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ばらつきで判断可能 ばらつきで ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した 50%以下 80%以下 80%超 判断不可能 比率(%)計算の値で評価する。 90%以上 評 75%以上~90%未満 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象評価項目数(h b' b' 価 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 60%以上~75%未満 b' h С С 値 60%未満 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

		_			(検査員
考查項目	a /ac.l. or or	b	C C	d	
	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
.出来形及び 出来ばえ	●評価対象項目				
	関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。				
I.出来ばえ	仕上げがよい				
	施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがわかる。				
	施工対象物の通りが良い。 細微まできめ細やかな施工がされている。				
	全体的な美観がよい。				
	クラック、隙間、がたつき等がない。				
	総合的な機能が良い。				
	●判断基準				
	該当5項目程度以上・・・a				
	該当4項目程度・・・・・・b 該当3項目程度・・・・・・c				
	該当3項目程度····································				
	Mas Veracon I				

別紙一4

【記入方法及び留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

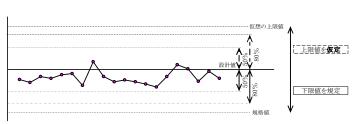
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

①ばらつきが50%以下と判断できる例



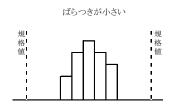
(下限値のみの場合)



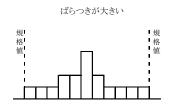




[度数表またはヒストグラムの場合]







2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2)コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「合併工事」欄を活用する。
- 3. コンクリート構造物のクラックについて
- (1)クラックが発生した構造物では、「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、c評価とする。 (2)「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。
- 4. その他
- ・「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- ・「4. 工事特性」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

施工プロセスチェックリスト「別紙-5」

目 次

ページ

土 木 97 ~

建 築 … 101 ~

施工プロセスチェックリスト (土木)

1.	工事名										
2.	工 期	平成	年	月	日	~	平成	年	月	日	
3.	施工業者										

事務	豜	(課)	名:	
監	督	員	名:	

①施工プロセスチェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督職員等が確認する。 ②チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にレマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。 ③用語の定義については、契約後:当初契約後、変更後:工期内に行う契約変更後とする。

	11 記がた我について	「は、契約後:当初契約後、変更後:工期内に行 	コノ矢和及又	はなくりる。													(1/4)
考 細								チェ	ック時期	朝(指示习	事項)						
査項 目 別	確認項目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前						施	工 中						完成時	備 (指示事項及びその是正状況等)
1 I	○契約工程表	・契約締結の7日以内に、契約工程表が提出された。 (契約後、変更後)	(/)	(/ :	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	\ _)	
工工工	○工事カルテ	・事前に監督職員の確認を受け、契約締結	(/)	(/)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		(/)	(/)	(/) (/)	
体体制制	OT#W///	後等の10日以内に登録機関に申請した。															
án.		(契約後、変更後、完成時)															
利又	○品質証明	・品質証明員の資格(身分及び経歴)が適	(/)	(/		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/	1 5000000000	上 当面の間はチェックの対象外とする。
	O11 94 101.91	正である。また、品質証明員に関する資料															· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		を書面で提出した。 (契約後、変更後)															
		・工事途中及び検査時の事前に品質確認を	00000000	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		(/)	(/)	(/) (/)	
		行い、その結果を所定の様式により提出し		` _ ·		ľπ											
		た。(検査の前等)															
		・品質証明は、出来高、品質及び写真管理		(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/) (/)	
		等、工事全般にわたり適切(数量も含む)															
		に実施した。 (品質証明実施時)															
	○建設業退職金共	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/) 0000000	
	済制度等	内に提出した。 (契約後、増額変更後)															
		「建設業退職金共済制度適用事業主工事	9393939	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		現場」の標識が現場に掲示している。															
		(施工時1回程度)															
		・労災保険関係の項目が現場の見やすい場		(/ :	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		所に掲示している。 (施工時1回程度)															
		・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い		(/ :	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		簿等により適切に管理している。															
		(施工時適宜)															
	○請負代金内訳書	・契約締結後14日以内に、所定の様式で提	(/)	(/ :	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	当面の間はチェックの対象外とする。
		出した。 (契約後、変更後)															
	○施工体制台帳、	・施工体制台帳を現場に備え付け、かつ、		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
	施工体系図	同一のものを提出した。															
	(2,500万円以上の	(施工時の当初、変更時)															
	工事)	・施工体制台帳に下請負契約書(写)及び		(/	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		再下請負通知書を添付している。															
		(施工時の当初、変更時)															
		・施工体制台帳に、下請負金額を記入して		(/	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		いる。(下請け総額が3,000万円(建築一式															
		工事の場合は4,500万円)以上の工事)															
		(施工時の当初、変更時)		:													

老 細								チェ	ック時期	引(指示:	事項)						(2/4)
目別	筆 認 項 目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前						施	I. P						完成時	備 考 (指示事項及びその是正状況等)
1 I Ot	施工体制台帳、	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		の見やすい場所に掲げている。															
	500万円以上の	(施工時の当初、変更時)															
制制工	事)	・施工体系図に記載のない業者が作業して		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
般	(続き)	いない。 (施工時 1回/月程度)															
		・施工体系図に記載されている主任技術者		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		及び施工計画書に記載されている技術者が															
		本人である。 (施工時の当初、変更時)	0000000													::::::::::	
		・元請負人がその下請工事の施工に実質的		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		に関与している。(施工時の当初、変更時)															
03	建設業許可標識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		衆の見やすい場所に設置し、監理技術者を															
		正しく記載している。 (施工時1回程度)															
II ()	見場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
配置		(施工時 1回/月程度)	200000000														
技		・現場代理人は、監督職員との連絡調整及		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
者	中田共体本	び対応を書面で行っている。(施工時適宜)	(00000000														
75	専門技術者 の配置	・専門技術者を専任し、配置している。	(/)	(/)	(/)	(/)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
場	が配直 作業主任者	(施工計画時、施工時適宜) ・作業主任者を選任し、配置している。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	1		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	1000000000	
押	IF来土仕名 の選任	・「F来主任名を選任し、配直している。 (施工計画時、施工時適宜)							(/)								
	監理技術者	・ 資格者証の内容を確認した。	(/)				.00000000	********					*******		*********		
BEC.	主任技術者)	(着手前)															
++-	の専任制	・配置予定技術者、通知による監理技術者	(/)											00000000000000000000000000000000000000			
術者		施工体制台帳に記載された監理技術者と監															
		理技術者証に記載された技術者及び本人が															
土任		同一であった。 (着手前)															
技術		・現場に常駐していた。	00000000	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
者		(施工時 1回/月程度)															
		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		を把握し、主体的に係わっていた。															
		(施工時、打合せ時)															
		・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもっ		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		て工事を進めている。 (施工時適宜)															
Oi	現場技術者	・現場技術員との対応が適切である。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		(施工時適宜)															
0	下請負者の把握	・下請負人が茨城県の工事指名競争参加資		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		格者である場合には、指名停止期間中でな															
		い。 (施工時適宜)															

考 細								チェ	ック時期	明(指示:	事項)						(3/4)
查項	確認項目	チェックリスト一覧表	** * **						+4							eta -là mie	備 考 (指示事項及びその是正状況等)
自別		(チェックの目安)	着手前						旭 .	工 中						完成時	(Int. 4 XX C C S Z LL IVOL 1)
2 I	○設計図書の照査	・契約書第18条第1条第1号から第5号に	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
施施	等	係わる設計図書の照査を行っている。															
大 管		(着手前、施工時適宜)															
況 理		・現場との相違事実がある場合、その事実	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		が確認できる資料を書面により提出して確															
	04-2-2	認を受けた。 (着手前、施工時適宜)	(()	(()	(()	(()			/ / \		(()		(()	(()	(()		
	○施工計画書	・施工(変更を含む)に先立ち、提出した。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		(着手前、変更時) ・記載内容と現場施工方法と一致している。	00000000	(/)	(/)	(/)					(/)	(/)		(/)	(/)		
		・記載内谷と現場爬工方伝と一致している。 (施工時適宜)							(/)				(/)				
		・記載内容(作業手順書等)と現場施工体		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		制が一致している。 (施工時適宜)															
		・記載内容が、設計図書・現場条件等を反	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		映している。 (着手前、変更時)															
	○施工管理	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	工事材料管理	管理している。 (施工時適宜)															
		・品質管理確保のための対策など施工に関		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・出来形、	する工夫を書面で確認できる。															
	品質管理	(施工時適宜)	*********														
		・日常の出来形、品質管理が書面にて確認		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		できる。 (施工時適宜)	********													********	
	・イメージアップ	・特記仕様書等に定められた事項や独自の		(_)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		取り組み又、地域等より評価されるものが															
	○絵本/確初た会	ある。 (施工時適宜) ・監督員の立合いにあたって、あらかじめ	33333333	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		立合願を提出している。 (施工時適宜)															
	等の調整	・段階確認の確認時期が、適切である。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		(施工時適宜)															
	○工事の着手	・工事開始日後、30日以内に工事に着手し	(/)														
		た。 (着手時)															
	○支給品	・受領予定14日前までに、品名、数量、品		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	及び貸与品	質、規格又は性能を記した要求書を提出し															
		た。 (施工時適宜)															
	○建設副産物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニュフ		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	及び建設廃棄物	ェスト)により適正に処理されていること															
		を確認し、監督職員に提示した。															
		(施工時適宜) ・再生資源利用計画書及び再生資源利用促	1 / N	(/ \	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・再生資源利用計画者及び再生資源利用促 進計画書を所定の様式に基づき作成し、施	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		正計画書に含め提出した。 (施工時適宜)															
	○指定建設機械類	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音	9999999	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	の確認	型・低振動型建設機械)を使用している。															
	- PERMIC	(施工時 1回程度)]			
Щ_		,	100000000000000000000000000000000000000			·	1	1	·	1	1						1

施工プロセスチェックリスト (土木)

							旭上ノロ	ヒヘナエ	ツクソヘ	ト (土木)							(4/4)
老細								チェ	ック時期	引(指示:	事項)						(4/ 4)
查	確認項目	チェックリスト一覧表															備 考 (指示事項及びその是正状況等)
目別		(チェックの目安)	着手前						施	工 中						完成時	(指示事項及いての定止状況等)
2 II	○工程管理	・フォローアップ等を実施し、工程の管理	9999999	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/	300000000	
施工		を行っている。 (施工時適宜)															
工程状質		・現場条件変更への対応、地元調整を積極		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
況理		的に行い、その結果を書類で提出した。															
		(施工時適宜)														3333333	
		・作業員の休日の確保を行った記録が整理		(/)	(/)	. , ,	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
L		されている。 (施工時適宜)														3333333	
"	○安全活動	・災害防止協議会等を設置し、活動記録が		(_)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/	000000000	
安全		ある。 (施工時適宜)														30000000	
交		・店社パトロールを実施し、記録がある。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
*		(施工時 1回/月程度) ・安全・訓練等を実施し、記録がある。	00000000													1000000000	
		・女生・訓練寺を美雕し、記録がめる。 (施工時適宜)															
		・安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/	1000000000	
		がある。 (施工時適宜)															
		・新規入場者教育を実施し、記録がある。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		(施工時適宜)															
		・過積載防止に取り組んでいる記録がある。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/		
		(施工時適宜)															
		使用機械、車輌等の点検整備等が管理さ		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		れ、記録がある。 (施工時 1回/月程度)															
		・重機操作で、誘導員配置や重機と人との		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
		行動範囲の分離措置がなされた点検記録等															
		がある。 (施工時適宜)														33333333	
		・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管		(_)	(/)	, , ,	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		理の記録がある。 (施工時適宜)														100000000	
		・足場や支保工の組立完了時や使用中の点 検及び管理がチェックリスト等により実施				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		20000000	
		され、記録がある。 (施工時適宜)															
		・保安施設等の整理・設置・管理が的確で		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/) :::::::::::::::::::::::::::::::::::::	
		あり、記録がある。 (施工時適宜)															
	○安全パトロール	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
	の指摘事項の処理	事項について、速やかに改善を図り、かつ															
		関係者に是正報告した記録がある。															
		(施工時適宜)															
IV	○関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
交		整をした記録がある。 (施工時適宜)															
関		・地元住民等との施工上必要な交渉、工事	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
係		の施工に関しての苦情対応を適切に行い、															
		記録がある。 (施工時適宜)	, , .		, , .	, , .	, , .	, , .	, , .	, , .	, , .	, , ,	, , .	, , .	, ,	100000000	
		・隣接工事又は施工上密接に関連する工事	(/)	(/)		. , ,	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/))	
		の請負業者と相互に協力を行っている記録															
\Box		がある。 (施工時適宜)				<u> </u>											

「施工プロセス」チェックリスト(建築)

1. 工 事 名	工事	事務所(課)名:
2. 工 期	平成 年 月 日~平成 年 月 日	監督員名:
2 体工学学		

- ①「施工プロセス」チェックリストは、標準仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に管理されているかを監督職員等が確認する。
- ②チェック欄には書類もしくは現場等で確認した月日を、その内容が適切であれば口にレマークを記入する。(必要に応じて指示事項等を記入してもよい。)備考欄には指示事項、是正状況、取り組み状況等を記入する。

考	.						チェック様	(指:	示事項等)				
查項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	着手前				施工中				完成時	備考
1施工体		〇品質·安全管理体制 	・品質及び安全計画に見合う管理体制が確立されている。 (施工計画書提出時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
体制	制一	〇建設業退職金共済制 度	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 (契約後、増額変更後)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	般		・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 (施工中1回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇請負代金内訳書	・請負代金内訳書を契約締結後14日以内に提出した。 (契約後)										
		〇労働保険関係成立票	・労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示している。 (施工中1回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(
		○建設業許可標識	・建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所に設置している。(全ての下請業者を含む。) (施工中1回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			・施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。(提出義務のない工事は、下請業者を含む作業分担に関する資料でよい。) (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	\ \ \	\ \ \	\ \ \	\ \ \	\ \ \		
			・施工体制台帳に下請負契約書等(写)(再下請業者を含む。)を添付している。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/ 0	(/ 0	(/ 0	(/ 0			
			・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/ 0	(/ 0	(/)	(/ 0	(/ 0		
			・施工体系図または下請負人通知書等に記載されている業者のみが作業している。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	()	\	(/ 🗆	(/ 0	(/ 0		
			・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。(下請工事がある全ての工事に適用する。) (施工時の当初、変更時)	_	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

「施工プロセス」チェックリスト(建築)

考 査	∕ /m						チェック欄	(指:	示事項等)				
登 項目	別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	着手前				施工中				完成時	備考
1施工体	配置技		・事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内(祝日を除く。)に登録機関に申請し、登録されることを証明する資料を、監督職員に提出した。 (契約後、変更後、完成時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
制	者/	○現場代理人	・現場に常駐している。 (施工中 1回/月程度)		(/ 0		(/ 0	(/)	(/)	(/)	(/)		
	現場代理		・監督職員への通知、報告、申出等を書面で行っている。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	人	〇監理技術者(主任技術 者)の専任制等	・技術者としての要件が資格者証等により確認できた。 (着手前)	(/ 🗆									
	監理技術者		・配置予定技術者または現場代理人等通知書等に記載されている 技術者が本人と同一であった。 (着手前)	(/)									
	者/主任技術者		・工事実績情報登録において重複が無く、現場に専任している。(専任義務は建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上) (施工中 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
	技術者		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。 (施工中、打合せ時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		○専門技術者の 配置	・専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇作業主任者の 選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇下請負者の把握	・国土交通省の指名停止期間中でない。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/ 0	(/ 0	(/)	(/)		
2施工状況	Ⅰ施工	○設計図書の照査 等	・契約書第18条第1条第1号から第5号に係わる設計図書の照査を 行っている。 (着手前、施工中適宜)	\ \ \ \	\ \ 		\	\ \ \ \	\ \ \ \	\ \ \ \	\		
沢	管理		・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工中適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇施工計画書	・施工に先立ち、設計図書等の内容を反映したものを提出した。 (着手前、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

「施工プロセス」チェックリスト(建築)

考							チェック様	(指:	示事項等)				
査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	着手前				施工中				完成時	備考
2施工状況	I施工	〇施工管理 ・建築材料、機材の管理	・建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
状況	管理	·出来形、品質管理	・日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇建設副産物及び建設 廃棄物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式 に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工中適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	Ⅱ工程管	〇工程管理	・施工前に各種工程表を提出している。 (着手前、施工中適宜)	(/)	(/)	(/)	\ \ \	\ \ \	\ \ \	\ \ 	(/)		
	管 理		・工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。 (施工中適宜)		(/)		\ \ \ \	(/ 0	(/ 🗆	(/ 🗆	(/)		
	Ⅱ安全対策	○安全活動	・安全活動を実施し、記録がある。(必要に応じ、以下の内容をチェックする。) ①災害防止協議会等(施工中適宜) ②店社パトロール(施工中1回/月程度) ③安全教育、訓練等(施工中適宜) ④安全巡視、TBM、KY等(施工中適宜) ⑤新規入場者教育(施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		○仮設備点検等	・仮設備点検等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) ①過積載防止対策(施工中適宜) ②機械・車両等点検整備等(施工中1回/月程度) ③重機操作時安全点検記録等(施工中適宜) ④山留め、仮締切等の点検及び管理記録(施工中適宜) ⑤足場、支保工の組立完了時・使用中の点検及び管理記録(施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	Ⅳ対外関係	○関係機関等	・関係機関等との調整等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) ①関係官署(施工中適宜) ②近隣住民・入居官署等 (施工中適宜) ③関連工事等(施工中適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況「別紙ー6」

目 次

ページ

土 木 … 105~

建 築 108 ~

別紙-6①

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(土木)

工事名		受注者名
項目	評 価 内 容	備考
□工事特性 様々な施工条 件等に適切に 対応	□構造物の特殊性	構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工規 模等が特殊 対称構造物の形状が複雑で、施工条件が特に変 化する工事
	□都市部の作業 環境,社会条件等	地盤の変動、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響 周辺住民等に対し騒音・振動を特に配慮 現道上での交通規制に大きく影響 緊急時の対応が特に必要 施工範囲が広範囲
	□厳しい自然・地 盤条件	特殊な地盤条件 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が 大きい 急峻な地形、土石流危険渓流内 動植物等の自然環境の保全に特に配慮
	□長期工事におけ る安全確保	12ヶ月を超える工事で無事故 ただし、文書注意に至らない事故は除く。
□ 創意工夫 ・	□施工	施工に伴う機械、器具、試運転調整 二次製品、代替製品の利用 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工 部材並びに機材等の運搬、吊りまで配線や配管 給排水工事や衛生設備工事のる配管、 治排水工事や衛生設備で 設備水水の凍結防止、確保 仮排水でのが、 原排水でのででででででででででででででででででででででででででででででででででで
	□新技術	NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術を 活用し、活用効果調査表を提出 NETIS登録技術のうち、「有用とされる技術」を 活用し、活用効果調査表を提出

- 該当する項目の□にレマーク記入。
 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

別紙-6② 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(土木)

工事名		受注者名
項目	評 価 内 容	備考
□ 創意 注的たつ算でり 受主したの算でり 自施で準計い	□品質□安全衛生	土工、設備、電気の品質向上 コンクリートの材料、打設、養生 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の 使用材料 鉄筋、溶接作業等 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく 安全衛生教育 安全を確保するための仮設備等 (落下物・墜落・転落・挟まれ 看板、立入防 止柵、手摺り、足場等) 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等 有害ガス、可燃ガスの処理、粉塵防止、作業中 の換気 一般車両突入時の被害低減方策、一般交通の安 全確保 厳しい作業環境の改善 環境保全
□社会性等 地域社会や住 民対する貢献	□その他 □地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場事務所や作業現場と周辺環境との調和 定期的に広報紙の配布や現場見学会実施、地域 主催のイベントに積極的に参加など、地域との とのコミュニケーション 災害時の地域への支援、行政などによる救援活 動に積極的に協力

- 該当する項目の□にレマーク記入。
 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

別紙-6③

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)

工 事 名		/
項目	評 価 内 容	
提案内容	,	
(説 明)		
(添付図)		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

別紙-6① 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(建築)

		工工工中(内) 3天地(化 (足来)
工事名		受注者名
項目	評 価 内 容	備考
□工事特性 様々な施工条 件等に適切に 対応	□建物規模への 対応□建物固有の	・延べ面積10,000㎡以上の建物 ・地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 ・大空間のホール等を有する建物 ・対象建物の耐震レベル
	機能の難しさ への対応	・建物機能の特殊性
	□建物固有の施工 技術の難しさ への対応	・建築材料、設備機材、工法についての提案 ・設計条件として、工法、材料及び設備システム の特殊性 ・制約条件等があり、施工難度が特に高い場合
	□厳しい自然・ 地盤条件への 対応	・湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)・軟弱地盤、支持地盤の影響・雨・雪・風・気温等の影響
	□厳しい周辺環境・ 社会条件への 対応	・地中埋設物等の作業障害・工事の影響に配慮するべき建物等の近接物・周辺住民等に対する騒音・振動・の配慮・周辺水域観光に対する水質汚濁の配慮
	□施工現場での対応	・12ヶ月を超える工期で事故がなく完成した工事 ・地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を 行った工事 ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的 にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を 行った工事 ・休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 ・施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が 特に厳しい工事 ・特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の 請負者が複数ある工事 ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・ 通行人等の動線がある工事 ・特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を 要する工事
		・施工ヤートが狭く、高さ制限もあり、施工及び 機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・同一敷地内における施設を使用しながらの建て 替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事

- 1. 該当する項目の□にレマーク記入。 2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。 別紙-6②

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(建築)

工事名		受注者名
項目	評 価 内 容	備考
□創意工夫	□準備・後片付け	
受注者が自主的に実施したもので、		
	□施工関係	・施工に伴う機械、器具、工具、装置類
かつ、標準積算では計		・二次製品、代替製品の利用・施工方法の工夫
上できない取り組み		・施工環境の改善
		・仮設計画の工夫
		・施工管理、品質管理の工夫
	 □品質関係	
	│□前員渕徐 │ │	
	□安全衛生関係	・安全施設・仮設備の配慮
		・安全教育・講習会・パトロールの工夫
		・作業環境の改善
		・交通事故防止の工夫
	│ □施工管理関係 │	
	□その他	・NETIS登録技術のうち、施行技術を活用
	L ~ C V) [U.	・NETIS生験技術のプラウ、他们技術を信用
		・災害時等に地域への救援活動等に協力
地域社会や住		・地域の自然環境保全・生物保護等
民対する貢献		・現場環境の地域への調和
		・地域住民とのコミュニケーション
		・ボランティアの実施

- 該当する項目の□にレマーク記入。
 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

別紙-6③

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)

工 事 名		/
項目	評 価 内 容	
提案内容	,	
(説 明)		
(添付図)		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。